

総合人間科学研究科

教育学専攻

心理学専攻

社会学専攻

社会福祉学専攻

看護学専攻

1. 総合人間科学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的/

Educational, Research, and Human Resource Development Objectives of the Graduate School of Human Sciences

人間の尊厳を基盤とし、科学の知、臨床の知、政策・運営の知にかかわる学際的教育・研究を行い、理論と実践・臨床を両輪として社会に貢献しうる人材を育成する。前期課程では、実践・臨床の場で活躍できる高度専門職業人及びこれらの場を視野にいれた研究者の養成を目指し、後期課程では、実践・臨床的知見を踏まえ学問的に貢献しうる人材育成を目指す。

Our interdisciplinary education and research program is based on respect for human dignity. It involves scientific knowledge, clinical knowledge, and policy and management knowledge, and nurtures researchers and professionals who can contribute to society through both theoretical and practical/clinical work. In the Master's program, we aim to nurture researchers and highly-skilled professionals who can play an active role in practical and clinical settings. In the Doctoral program, we aim to nurture advanced researchers who can make academic contributions based on practical and clinical knowledge.

2. 各専攻のディプロマ・ポリシー/ Diploma Policy

教育学専攻/Master's and Doctoral Programs in Education

【博士前期課程】

本課程では、教育学の領域における幅広い学識と基礎的研究スキルを身につけ、人間の尊厳を守りつつ、教育を通じて現代社会の課題解決に取り組むことができる人材の養成を目的として、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけたものと認め、学位を授与します。

1. 社会の様々な事象についての情報収集力
2. 柔軟で多角的な思考力・分析力
3. 他者への共感と多様な集団との協働によって生み出す創造力
4. 問題解決のための実行力
5. 研究を適切に実行し、その成果を学術論文としてまとめる力

【Master's Program】

The M. A. program aims to nurture researchers and professionals with broad academic knowledge and advanced research skills in the field of education who can work to resolve issues in contemporary society through education while respecting human dignity.

Upon satisfying the requirements for completion of the program and passing the thesis examination, students will be recognized as having acquired the following knowledge and skills and will be awarded a degree:

1. ability to gather information on various social phenomena
2. flexible and multifaceted thinking and analytical skills
3. creativity and empathy cultivated through collaboration with diverse groups of people
4. ability to implement solutions to problems
5. ability to properly conduct research and compile the results into an academic paper.

【博士後期課程】

本課程では、研究者として教育学の領域における幅広い学識と高度な研究スキルを身につけ、人間の尊厳を守りつつ、教育を通じて現代社会の課題解決にリーダーシップを発揮して取り組むことができる人材の養成を目的として、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけたものと認め、学位を授与します。

1. 社会の様々な事象についての情報収集力
2. 柔軟で多角的な思考力・分析力
3. 他者への共感と多様な集団との協働によって生み出す創造力
4. 問題解決にリーダーシップを発揮して取り組む実行力
5. 自立的に研究を遂行し、新たな知見を学術と政策・実践にもたす力
6. 研究成果を適切にまとめ広く社会に発信する力

【Doctoral Program】

The Ph. D. program aims to nurture researchers with broad academic knowledge and advanced research skills in the field of education who can take leadership in resolving issues in contemporary society through education while respecting human dignity.

Upon satisfying the requirements for completion of the program and passing the thesis examination, students will be recognized as having acquired the following knowledge and skills and will be awarded a degree:

1. ability to gather information on various social phenomena
2. flexible and multifaceted thinking and analytical skills
3. creativity and empathy cultivated through collaboration with diverse groups of people
4. ability to take leadership in problem-solving
5. ability to carry out research independently and bring new knowledge to academia and policy/practice
6. ability to summarize research results appropriately and disseminate them widely to society

心理学専攻

【博士前期課程】

本課程では、キリスト教ヒューマニズムに基づく人間の尊厳を守る社会を実現するために、心理学の知識の理解、研究方法の修得や実践を通し、学修の成果を研究活動として結実させ、心理学の専門家・専門職として社会に貢献できる人材の養成を目的として、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけたものと認め、学位を授与します。

1. 基礎心理学コース、臨床心理学コースの両コース共に、心の働きの実証的理解、心と行動の普遍性およびその多様性と可塑性の理解、心理学の社会的役割の理解
2. 心を生み出す仕組み（機構）と心理学の諸理論の正確な理解を踏まえて、人間についてより深く理解する力
3. 専門職業人として、本学の建学の理念である「隣人性」「国際性」を達成するために、基礎分野および臨床分野（医療、教育、福祉等）で活かすことのできる知識や技術、それを的確に伝える力
4. 多様な他分野、多職種との連携が可能となる広い知見
5. 自身の専門領域を深め、学会などでの発表を踏まえ、修士論文としてその成果をまとめるとともに、広く発信する力

【博士後期課程】

本課程では、キリスト教ヒューマニズムに基づく人間の尊厳を守る社会を実現するために、心理学の知識の理解、研究方法の修得や実践を通し、学修の成果を研究活動として結実させ、論文の形で問うことができるようにします。「心」を探求する専門的な知識と経験を、総合的視野に立って駆使し、研究者・教育者として社会に貢献できる人材の養成を目的とし、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけたものと認め、学位を授与します。

1. 心理学の多様な分野での知見を深め、臨床的視点をもつ研究者、研究者の視点をもつ実践家となる力
2. 科学的視点を基盤にし、様々な場で対人支援を実践できる専門家としての能力
3. 自身の専門領域を深め、学会誌、国際学会などでの発表を踏まえ、博士論文としてその成果をまとめるとともに、広く発信する力
4. 多職種連携を必要とするがん医療の分野をはじめとする喫緊の課題解決に資する能力

社会学専攻

【博士前期課程】

本課程では、人間の尊厳を守る公正な社会の実現に向けて、社会が直面する様々な変化やそれに付随して生じる社会問題の根源的なメカニズムを理解し、冷静な分析力と機敏な応用力を兼ね備えた人材の養成を目的とし、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけたものと認め、学位を授与します。

1. 専門分野における高度な理論的及び経験的知識を理解する力
2. 社会変動や社会問題について社会学的な研究課題を設定する力
3. 社会学的な研究課題に対して適切な研究方法及び分析手法を提案する力
4. 自らの主張を論理的に整理して的確に伝え、修士論文としてまとめる力
5. 研究課題の達成を通じて現代世界における多様な価値の共生に資する力

【博士後期課程】

本課程では、人間の尊厳を守る公正な社会の実現に向けて、社会が直面する様々な変化やそれに付随して生じる社会問題の根源的なメカニズムを理解し、研究者としての冷静な分析力と機敏な応用力を兼ね備え、また、高度な理論的知識や方法論的技術を駆使して研究論文をまとめる力量を備えた人材の養成を目的とし、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけたものと認め、学位を授与します。

1. 専門分野における高度な理論的及び経験的知識を独自に整理し運用する力
2. 社会変動や社会問題について独創性を有する社会学的な研究課題を設定する力
3. 社会学的な研究課題に対して適切な研究方法及び分析手法を提案し、高度な水準でそれを実施する力
4. 自らの主張を論理的に展開して国内外に広く発信し、博士論文としてまとめる力
5. 研究を通じて現代世界の福祉と創造的進歩に資するような結論の提示または政策を提言する力

社会福祉学専攻

【博士前期課程】

本課程では、人間の尊厳を尊重し、福祉社会の実現と創造的進歩に貢献できる人材の養成を目的として、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけたものと認め、学位を授与します。

1. 社会福祉における基本的理念、高度な専門知識と実践能力、研究能力
2. 福祉政策・運営管理と福祉臨床の両領域について幅広い知識を修得し、福祉社会を構築するうえでの実践能力
3. 理論と実践・臨床を統合することによって、現代社会における課題解決に向けた多角的な分析能力
4. 「研究者養成プログラム」では、福祉社会をデザインし作り出す実証研究能力を身につけ、学術雑誌や国際学会等で研究成果を発信し、学術論文としてまとめる力
5. 「高度福祉専門職養成プログラム」では、福祉臨床の知識・技術を身につけ、政策立案や臨床の現場で指導的役割を果たせる実践能力と、学術論文としてまとめる力

【博士後期課程】

本課程では、人間の尊厳を尊重し、福祉社会の実現と創造的進歩に、自立した研究者として貢献できる人材の養成を目的として、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけたものと認め、学位を授与します。

1. (博士前期課程で身につけた) 社会福祉における基本的理念、高度な専門知識と実践能力、研究能力をより高め、独創的な知見を生み出すことができる力
2. 福祉政策・運営管理と福祉臨床の両領域についての幅広い知識をさらに深め、福祉社会を構築するうえで必要となる高度な分析能力、実証研究能力
3. 学術雑誌への投稿、国際学会等での報告において研究成果を発信・議論し、博士論文としてまとめる力

看護学専攻

【修士課程】

本課程では、人間に対するケアリングをディシプリンとして捉えるとともに、実践に生かせる研究力ならびに指導力を兼ね備えた人材の養成を目的として、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけたものと認め、学位を授与します。

1. 研究のプロセスを適切に踏み、その成果を的確な構成、論理的な展開をもって論文としてまとめる力
2. 人々の発達・健康レベルに応じた最善の健康支援をめざした実践能力と研究能力
3. 臨床現場で指導的役割を果たすことのできる実践能力
4. 学際的、総合的な視野をもって国内外で活動する力

3. 各専攻のカリキュラム・ポリシー/ Curriculum Policy

教育学専攻/Master' s and Doctoral Program in Education

【博士前期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 博士前期課程では、講義・演習・研究指導を組み合わせたカリキュラムを作成している。「講義」では、教育学の当該領域（教育哲学、教育史、教育社会学、国際教育学など）における主要テーマについて理解する。「演習」では、特定トピックについての議論による理解の深化や、調査研究スキルの獲得を目指す。また、自研究科内の他専攻開設科目や、8単位まで他研究科開設の科目を履修することも出来る。これらの科目を受講することにより、社会の様々な事象に関する情報収集力、そして幅広い学識と柔軟かつ多角的な思考力・分析力を身につける。
2. 本課程では、英語による科目を開設し、他研究科とのクロス・リスティング、国連大学の委託聴講制度等を活用することで、学びの場における多様性を確保する。さらに、国内外でフィールド体験・研修を実施する。留学で卒業のための単位を一定数取得することもできる。これらにより、他者への共感力と創造性、そして問題解決のための実行力を磨く。
3. 課程履修期間中は、指導教員および必要に応じて複数の教員から個別に指導を受けることで、研究能力を向上させる。学生は、2年次の春学期に研究概要を提出し、中間発表会において口頭で説明する。教育学専攻の所属教員および他の大学院生から研究内容についてのフィードバックを得ることで、研究論文の質を高める。

【Master' s Program】

In line with the Diploma Policy, the curriculum of the M. A. program is offered as follows:

1. The M. A. curriculum combines lectures, seminars, and research guidance. In "Lectures", students will gain an understanding of major themes in the relevant areas of education (philosophy of education, history of education, sociology of education, international education, and others). In the "Seminars", students aim to deepen their understanding through discussions on specific topics and acquire research skills. In addition, students may take courses from other programs within their own graduate school, and also from other graduate schools for up to 8 credits. By taking these courses, students will acquire the ability to gather information on various social phenomena, as well as broad academic knowledge and the ability to think flexibly and analyze from multiple perspectives.
2. This program provides diverse learning environments by offering courses in English, cross-listing with other graduate schools, and availing of the United Nations University Commissioned Auditing Program. Furthermore, field experiences and training will be conducted both in Japan and abroad. Students can also gain credits for graduation by studying abroad. Through these activities, students develop their empathy for others, creativity, and problem-solving abilities.

3. During the course of the program, students will improve their research skills and competencies by receiving individual guidance from their academic advisor and from other faculty members as needed. Students submit an outline of their research in the spring semester of their second year and give an oral presentation at the mid-term progress meeting. Students will enhance the quality of their research papers by obtaining feedback on their research from faculty members of the Graduate Program in Education and other graduate students.

【博士後期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 本博士後期課程では、関連領域の講義・演習科目を開設する。これらの科目では、領域における基礎的事項を確認すると同時に、特定のトピックについて少人数クラスで議論を行い、その理解を深める。また、これらの科目履修により、研究実践スキルの向上、および自身の研究計画の精緻化を図る。
2. これらの科目に加えて、学生は、博士論文作成のための論文演習・研究指導科目を履修させる。課程履修期間を通じて、指導教員から博士論文執筆や研究成果の発信（学術誌への投稿、学会での口頭発表など）についての個別指導を受けさせる。
3. さらに、専任教員3名からなる指導委員会が設置され、修学期間中の研究指導を受けることが出来る。指導委員会のメンバーは、学生の研究課題や調査研究手法を考慮して構成される。この体制により、学生は、多様な角度から指導を受けながら、研究と博士論文の執筆を進めることが出来る。講義・演習科目の履修と研究指導を有機的に結び付けたこれらの学びにより、専門分野における情報収集・分析能力、および研究能力を獲得し、自立した研究者としての能力を身につけさせる。

【Doctoral Program】

In line with the Diploma Policy, the curriculum of the doctoral program is offered as follows:

1. Lecture and seminar courses in relevant sub-fields of education will be offered. Students will review the fundamentals of a sub-field and deepen their understanding through small-group discussions on specific topics. In addition, students will improve their research skills and refine their own research plans through these courses.

2. Students also take dissertation seminar and research guidance courses to prepare their doctoral dissertation. Throughout the course of study, students receive individual guidance from their supervisors on writing the doctoral dissertation and disseminating research results (submission to academic journals, oral presentations at academic conferences, and so on).

3. Additionally, an Advisory Committee consisting of three full-time faculty members is established to provide students with research guidance during their period of study. The members of the committee are chosen in view of the student's research topic and methodology. This system allows students to proceed with their research and doctoral dissertation while receiving guidance from diverse perspectives. Through these studies, which organically link

lectures, seminar courses, and research guidance, students acquire the ability to collect and analyze information in their specialized fields, as well as research skills and competencies to become independent researchers.

心理学専攻

【博士前期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、心と行動の仕組みとその働きを理解し、心理学の専門的知識と技能を用いて、広く社会に貢献できる人を育てるために、臨床心理学コース、基礎心理学コースの2つのコースを設け、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 心理学の専門家としての基盤を作るために、1年次、2年次に、研究法に関する科目、各心理学の専門領域に関する科目を開設する。
2. 学修の成果を研究活動として結実させるために、1年次、2年次の2年間を通して、論文演習を開設する。
3. 臨床心理学コースにおいては、臨床心理士として必要とされるさまざまな知識や技能を具体的な臨床事例に即して得、実習や実践を通してより一層深められるよう必修科目を開設する。
4. 学部生の指導やチューターをやる中で、自分自身の学びを深めることができる実習科目を開設する。

【博士後期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、「心」を探究する専門的な知識と経験を、総合的視野に立って駆使し、研究者・教育者・臨床家として社会に貢献できるよう、心理学の基礎から応用にわたる研究法、高度な先端的知識を身につけるよう、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 心理学の研究者・教育者・臨床家として必要な先端的知識、専門的スキルを修得し、それを様々な場で発信することができるように、1年次から3年次にかけて、講義科目と演習形式による論文演習を開設する。
2. 博士論文の構想発表までに、査読論文2本を書く。このためには、学会などの様々な機会を通して、自らの研究を発表し、他の研究者との研鑽をしていく。
3. 学部生、博士前期課程の学生に対する心理学研究法などのチューターを通して、心理学の知識や技能をより深めるとともに、研究者・教育者・臨床家として、それを他者に伝えるための技能を得させる。
4. がん医療関連科目として4大学院連携（上智大学、東京慈恵会医科大学、昭和大学、星薬科大学）の連携授業を履修することを認める。

社会学専攻

【博士前期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、社会現象のメカニズムを分析・理解する能力を獲得するために、社会学理論と社会調査法の基礎科目および現代社会の重要な諸側面を扱う幅広い専門科目を配置して、以下のようにカリキュラムを編成しています。

1. 理論的及び経験的知識の修得のため必修科目である社会学理論及び専門科目を1年次春学期から配置する。

2. 社会学的研究課題を設定する能力の修得のため必修科目である社会学方法論及び関連専門科目を1年次春学期から配置する。
3. 社会調査法の知識と運用能力の修得のため必修科目である社会学方法論及び専門社会調査士科目を1年次秋学期から配置する。
4. 修士論文執筆と口頭報告の能力の修得のため2年次春学期から指導教員による論文演習及び合同研究報告会を配置する。
5. 研究を現実の社会問題に応用する能力を修得するため専門科目においてディスカッションや実習を実施するとともに、関連学会への参加を促進する。

【博士後期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、社会現象のメカニズムを高度な水準で分析・理解し研究論文を執筆する能力を獲得するために、社会学理論と社会調査法の科目および現代社会の重要な諸側面を扱う幅広い専門科目を配置し、以下のようにカリキュラムを編成しています。

1. 博士論文執筆に必要となる高度な理論的及び経験的知識の修得のため専門科目を配置する。
2. 専門的研究課題を設定する能力の修得のため専門科目を配置する。
3. 高度な社会調査を自ら実施する能力の修得のため専門社会調査士科目及び関連専門科目を配置する。
4. 博士論文執筆と内外の学会での口頭報告の能力の修得のため指導教員による研究指導及び合同研究報告会を配置するとともに、関連学会での報告や学会誌への投稿を促進する。
5. 研究を政策的提言に応用する能力を高めるため学際的研究と関連学会での研究発表を促進する。

社会福祉学専攻

【博士前期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、狭義の社会福祉を超えた新しい福祉社会の実現に貢献する人材育成のために、「研究者養成プログラム」と「高度福祉専門職養成プログラム」を用意し、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. コアカリキュラムの「社会福祉研究法基礎」、「福祉政策運営管理研究法基礎」、「福祉臨床研究法基礎」を通して、社会福祉学で求められる多角的な研究法を学ぶ。
2. 「福祉政策・運営管理系科目」と「福祉臨床系科目」を通して、社会福祉学で必要とされる幅広い領域を学ばせる。
3. 「社会福祉フィールドワーク」と「援助事例分析」「社会政策・経営事例分析」を通して、理論と実践の統合を行い、現状や課題を多角的に分析する力をつけさせる。
4. 「研究者養成プログラム」では、コアカリキュラムにより研究法を深めるとともに、英語開設科目を通して英語による研究発信の方法・技術を学ばせる。
5. 「高度福祉専門職養成プログラム」では、おもに臨床や福祉各分野・課題に関する科目を通して福祉臨床の知識・技術を実践的に学ばせる。
6. 上記のカリキュラムおよび研究指導を通して修士論文をまとめ、その審査および最終試験に備えさせる。

【博士後期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、新しい福祉社会の実現に向けて国際的にも貢献できる人材育成のために、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

1. 指導教員による研究指導のもと、国内外の先行研究レビューや調査実施等により、研究のテーマ・方法を絞り込み研究を進めていく。
2. 福祉政策・運営管理系および福祉臨床系のコースワークを通して、社会福祉学の研究を進めるうえで求められる多角的な視点や研究方法を学ばせる。
3. 英語開設科目を通して英語による研究の発信や議論についての方法・技術を学ばせる。
4. 上記の研究指導およびカリキュラム、さらにコースワークの研究法特殊講義を通して博士学位申請論文をまとめ、その審査および最終試験に備えさせる。

看護学専攻

【修士課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、国内外の医療健康問題の動向における重要課題に鑑み、「共生支援」のキーワードにもとづいて、良質のケアリングにかかわる発展的かつ実践的な研究を行うために、以下のようにカリキュラムを編成しています。

1. 看護研究に関する基礎力を充実させる科目を開設する。
2. ケアリングについて考究する科目を開設する。
3. 自己が研究を通して深めたい専門看護学に関する科目を開設する。
4. 自己が研究を通して深めたい専門看護学を支持する科目を開設する。
5. 修士論文執筆とプレゼンテーション能力の修得のため 1 年次春学期から指導教員による演習を行い、研究計画検討会、修士論文発表会を配置する。

教育学専攻 博士前期課程 Master's Program in Education

1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件 Requirements for Courses, Credits and Number of Courses Required for Graduation

要件項目名 Core curriculum	必要 単位数 Credits	必要 科目数 Number of courses	備考（上限、その他） Notes
総単位数／Total credits	30		
授業科目／ Courses			
・必修科目 ／Compulsory courses	4		
└論文演習Ⅰ（前期） ／Academic Writing I （Master）	2		
└論文演習Ⅱ（前期） ／Academic Writing II （Master）	2		
・選択科目 ／Elective courses	26		
└自専攻科目 ／Graduate Program in Education courses			
└自研究科他専攻科目 ／Courses within the Graduate School of Human Sciences			
└他研究科他専攻科目 ／Courses outside the Graduate School of Human Sciences			認定手続により、8単位まで修了に必要な単位として認める。 Students can obtain up to 8 credits with a written approval.
└委託聴講科目 ／Course offered outside Sophia University			2単位まで修了に必要な単位として認める。 Students can take a course offered by the UN University up to 2 credits.
研究指導（必修） ／Research Guidance (compulsory)		4	単位なし、在学中毎学期登録される。 4科目以上合格すること。 No credits are given. Research Guidance is automatically registered every semester. Students must pass at least over 4 semesters.
修士論文／Master's Thesis			必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および試験に合格すること。修士論文の審査基準は別に定める。 （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること） Students need to pass thesis assessment and examination as stipulated in relevant guidelines and regulations. Students need to register for "Thesis" in the semester during which they submit a thesis paper.

【研究指導スケジュール／Research Guidance Schedule】

4月に実施する専攻ガイダンスで配布する「博士前期課程の研究スケジュール(指針)」にて、詳細を確認すること。

Students must review “Schedule of Master’s Studies in the Graduate Program in Education” carefully and familiarize themselves with the tasks they need to fulfill.

【修士論文審査基準／Criteria for Master’s Thesis Evaluation】

ディプロマ・ポリシーに掲げた能力等を把握するために、提出された論文を次の水準及び審査項目について審査する。

1. 研究の内容が教育研究に寄与し、オリジナリティを有すること。
2. 研究テーマが十分に絞り込まれた明確なものであること。
3. 先行研究が十分に参照され、明記されていること。引用が正確になされていること。データが適切に処理されていること。
4. 論文の構成が組織立っており、論理が明晰で、論旨が一貫していること。
5. 論文の言語表現が的確で正しいこと。また、目次、註などに関する体裁が整っていること。

1. The paper has originality and contributes to the knowledge base of a relevant field of education.
2. Research topic is well-defined.
3. Relevant literature is reviewed sufficiently and cited appropriately. Data are used appropriately.
4. The argument is presented logically and coherently.
5. The paper is written in a clear manner and the way that follows the format required, including the table of contents and a reference list.

2. 授業科目の編成・単位 / Course Structure and Credits

科目名 / Course Title *1 : Compulsory *2 : Compulsory Elective *3 : Elective	単位数 Credits		
	必修 *1	選必 *2	選択 *3
教育哲学講義			2
教育哲学演習			2
教育哲学特殊講義 I			2
SPECIAL SEMINAR IN PHILOSOPHY OF EDUCATION 2			2
教育史講義			2
教育史演習			2
教育史特殊講義 I			2
教育史特殊講義 II			2
教育方法学講義			2
教育方法学演習			2
教育方法学特殊講義 I			2
教育方法学特殊講義 II			2
学校臨床社会学講義			2
学校臨床社会学演習			2
学校臨床社会学特殊講義 I			2
学校臨床社会学特殊講義 II			2
学校教育学講義			2
学校教育学演習			2
SPECIAL SEMINAR IN EDUCATIONAL THEORY AND SCHOOLING 1			2
学校教育学特殊講義 II			2
教育社会学講義			2
教育社会学演習			2
教育社会学特殊講義 I			2
SPECIAL SEMINAR IN SOCIOLOGY OF EDUCATION 2			2
LECTURE IN INTERNATIONAL EDUCATION			2
SEMINAR IN INTERNATIONAL EDUCATION			2
SPECIAL SEMINAR IN INTERNATIONAL EDUCATION 1			2

科目名 / Course Title *1 : Compulsory *2 : Compulsory Elective *3 : Elective *4 *5 (他): 他専攻開講科目 Courses outside the Graduate School of Human Sciences	単位数 Credits		
	必修 *1	選必 *2	選択 *3
国際教育学特殊講義 II			2
LECTURE IN INTERNATIONAL EDUCATIONAL DEVELOPMENT			2
SEMINAR IN INTERNATIONAL EDUCATIONAL DEVELOPMENT			2
SPECIAL SEMINAR IN INTERNATIONAL EDUCATIONAL DEVELOPMENT 1			2
SPECIAL SEMINAR IN INTERNATIONAL EDUCATIONAL DEVELOPMENT 2			2
LECTURE IN COMPARATIVE EDUCATION			2
SEMINAR IN COMPARATIVE EDUCATION			2
SPECIAL SEMINAR IN COMPARATIVE EDUCATION			2
論文演習 I (前期) ACADEMIC WRITING I (MASTER)	2		
論文演習 II (前期) ACADEMIC WRITING II (MASTER)	2		
EDUCATIONAL MANAGEMENT AND LEADERSHIP			2
(他) GLOBAL POLITICS *4			4
(他) GLOBAL MIGRATION *4			2
(他) ECONOMICS OF DEVELOPMENT AND POVERTY *4			4
(他)「分野横断研究法：原理と技法」 *5			2

*4 グローバル社会専攻開講科目/Course offered by the Graduate Program in Global Studies

*5 神学専攻開講科目

3. 履修上の注意 / Notes for Registration

- 4月の教育学専攻ガイダンスで、専攻主任から研究スケジュールの説明を受けること。
- 指導教員の決定・変更は専攻会議の議を経て行う。1年次の4月中旬に希望する指導教員の名前を届け出ること。決まっていない場合は、専攻主任に相談すること。指導教員の変更は、専攻主任と相談の上、指導教員の手紙を得ること。なお、研究指導体制について相談がある場合は、専攻主任ないし研究科委員長に申し出ること。
- 指導教員の「研究指導」(必修)は在学中毎学期登録される。4科目以上合格すること。
- 同一名の科目であっても、年度によって授業内容が変わるものは、重複して履修することができ、単位として認定される。
- 1年次の1月末までに、指導教員の指導の下に「博士前期課程学位論文(修士論文)作成計画書」を作成し、教育学専攻事務担当者を通じて教育学専攻主任に提出すること。
- 2年次に指導教員の「論文演習 I・II」を必ず受講すること。
- 修士論文提出予定者は、修士論文を提出する学期の履修登録期間中に、必ず「修士論文」を登録すること。

8. 2年次の7月に開催される修士論文中間発表会に出席し、それまでの研究成果を発表すること。
 9. 2年次の1月18日までに修士論文を提出すること。
 10. 「(他)分野横断研究法：原理と技法」(神学研究科開講 2単位科目)について
分野横断型の科目として、2022年度から新たに開設された。本科目により修得した単位は、自研究科他専攻科目(選択科目)として修了に必要な単位に算入される。定員30名の抽選科目となるので、抽選エントリーの期間や方法、抽選後の先着順での登録方法等について、履修要覧〔ガイド・資料編〕-Ⅱ.教務-5-1(2)抽選科目についてを参照のこと。履修登録を行わずに授業に出席することはできない。なお、評価にはP(合格)・X(不合格)を使用する。
1. Students are required to attend a guidance meeting in April and receive a briefing about a research schedule from the chairperson.
 2. Student advisor is determined at a faculty meeting. Students must notify the chairperson of the name of the advisor they chose during April of their 1st year. Those who have not chosen their advisor by then should consult with the chairperson. Students who want to change their advisor afterwards should consult with the chairperson and obtain the agreement of the advisor regarding the change. If students have any concerns about academic supervision, please contact the chairperson or graduate school Dean.
 3. “Research Guidance” under the name of academic advisor is a noncredit course and registered every semester automatically. Students need to pass a total of 4 courses of Research Guidance.
 4. Students can register for a course twice with the same title taught by the same instructor, if the course contents change. The course credits will be counted towards the graduation.
 5. Students are expected to produce a thesis research plan under the guidance of their advisor by the end of January of the first year of their studies. This is to be submitted to the program Chair via the administration office of the Graduate Program in Education.
 6. Students must register for Academic Writing I (Master)(論文演習Ⅰ)and Academic Writing II (Master)(論文演習Ⅱ)under the name of their respective advisors during the second year of their studies.
 7. Students must register for “Thesis” in the semester during which they intend to submit a thesis paper.
 8. Students must attend the mid-term progress meeting held during July of the second year of their studies and present an oral report on the progress of their studies.
 9. Students are required to submit their thesis paper by January 18.
 10. To register for 大学院分野横断型科目「分野横断研究法：原理と技法」which is a lottery course offered in 2026 Autumn semester, please follow the necessary registration process explained on 「履修要覧〔ガイド・資料編〕-Ⅱ.教務-5-1(2)抽選科目について」 *A lottery course「分野横断研究法：原理と技法」will also count as other division courses in your own program courses. For details, please refer to 履修要覧〔ガイド・資料編〕-Ⅱ.教務-5-1(2)抽選科目について

4. 開講科目一覧表 / Course List[教育学専攻(前期) / Master's Program in Education]

登録コード Registration Code	開講期 Semester	科目名 Course Title	ナンバリング Numbering	単位数 Credits	担当教員名 Instructor's Name *非常勤教員 Adjunct Instructor	外国語 ※ English	備考 Notes
MHED7010	春	教育哲学講義	EDU504-81j00	2	鈴木 宏		後期課程科目「教育哲学上級講義」との併科科目
MHED7020	秋	教育哲学演習	EDU602-81j00	2	鈴木 宏		後期課程科目「教育哲学上級演習」との併科科目
MHED7030	春	教育哲学特殊講義 I	EDU505-81j00	2	*河野 桃子		
MHED7040	春	SPECIAL SEMINAR IN PHILOSOPHY OF EDUCATION 2	EDU506-81e00	2	*SATO Kunimasa	○	
MHED7070	春	教育史講義	EDU525-81j00	2	野々村 淑子		後期課程科目「教育史上級講義」との併科科目
MHED7080	秋	教育史演習	EDU609-81j00	2	野々村 淑子		後期課程科目「教育史上級演習」との併科科目
MHED7090	休講	教育史特殊講義 I	EDU526-81j00	2			
MHED7100	秋	教育史特殊講義 II	EDU527-81j00	2	*湯川 嘉津美		
MHED7130	春	教育方法学講義	EDU522-81j00	2	奈須 正裕		後期課程科目「教育方法学上級講義」との併科科目
MHED7140	秋	教育方法学演習	EDU610-81j00	2	奈須 正裕		後期課程科目「教育方法学上級演習」との併科科目
MHED7150	休講	教育方法学特殊講義 I	EDU523-81j00	2			
MHED7160	秋	教育方法学特殊講義 II	EDU524-81j00	2	*石田 有記		
MHED7190	春	学校臨床社会学講義	EDU501-81j00	2	酒井 朗		後期課程科目「学校臨床社会学上級講義」との併科科目
MHED7200	秋	学校臨床社会学演習	EDU601-81j00	2	酒井 朗		後期課程科目「学校臨床社会学上級演習」との併科科目
MHED7210	休講	学校臨床社会学特殊講義 I	EDU502-81j00	2			
MHED7220	秋	学校臨床社会学特殊講義 II	EDU503-81j00	2	*林 明子		
MHED7250	春	学校教育学講義	EDU510-81j00	2	上野 正道		後期課程科目「学校教育学上級講義」との併科科目
MHED7260	秋	学校教育学演習	EDU604-81j00	2	上野 正道		後期課程科目「学校教育学上級演習」との併科科目
MHED7270	秋	SPECIAL SEMINAR IN EDUCATIONAL THEORY AND SCHOOLING 1	EDU511-81e00	2	*SUZUKI Yuta	○	
MHED7280	春	学校教育学特殊講義 II	EDU512-81j00	2	*日暮 トモ子		
MHED7310	春	教育社会学講義	EDU513-81j00	2	*香川 めい		後期課程科目「教育社会学上級講義」との併科科目
MHED7320	秋	教育社会学演習	EDU605-81j00	2	相澤 真一		後期課程科目「教育社会学上級演習」との併科科目
MHED7330	春	教育社会学特殊講義 I	EDU514-81j00	2	*佐藤 香		
MHED7340	秋	SPECIAL SEMINAR IN SOCIOLOGY OF EDUCATION 2	EDU515-81e00	2	*NAKANO Ayaka	○	
MHED7430	春	LECTURE IN INTERNATIONAL EDUCATION	EDU530-81e00	2	SUGIMURA Miki	○	後期課程科目「ADVANCED LECTURE IN INTERNATIONAL EDUCATION」との併科科目
MHED7440	秋	SEMINAR IN INTERNATIONAL EDUCATION	EDU610-81e00	2	SUGIMURA Miki	○	後期課程科目「ADVANCED SEMINAR IN INTERNATIONAL EDUCATION」との併科科目
MHED7450	秋	SPECIAL SEMINAR IN INTERNATIONAL EDUCATION 1	EDU517-81e00	2	*ASADA Sarah	○	
MHED7460	秋	国際教育学特殊講義 II	EDU518-81j00	2	*吉川 裕美子		
MHED7490	春	LECTURE IN INTERNATIONAL EDUCATIONAL DEVELOPMENT	EDU531-81e00	2	KOMATSU Taro	○	後期課程科目「ADVANCED LECTURE IN INTERNATIONAL EDUCATIONAL DEVELOPMENT」との併科科目
MHED7500	秋	SEMINAR IN INTERNATIONAL EDUCATIONAL DEVELOPMENT	EDU611-81e00	2	KOMATSU Taro	○	後期課程科目「ADVANCED SEMINAR IN INTERNATIONAL EDUCATIONAL DEVELOPMENT」との併科科目
MHED7470	春	SPECIAL SEMINAR IN INTERNATIONAL EDUCATIONAL DEVELOPMENT 1	EDU533-81e00	2	UMEMIYA Naoki	○	
MHED7480	休講	SPECIAL SEMINAR IN INTERNATIONAL EDUCATIONAL DEVELOPMENT 2	EDU534-81e00	2		○	
MHED7540	春	LECTURE IN COMPARATIVE EDUCATION	EDU526-81e00	2	MANZON Maria	○	後期課程科目「ADVANCED LECTURE IN COMPARATIVE EDUCATION」との併科科目
MHED7530	秋	SEMINAR IN COMPARATIVE EDUCATION	EDU612-81e00	2	MANZON Maria	○	後期課程科目「ADVANCED SEMINAR IN COMPARATIVE EDUCATION」との併科科目

登録コード Registration Code	開講期 Semester	科目名 Course Title	ナンバリング Numbering	単位数 Credits	担当教員名 Instructor's Name *非常勤教員 Adjunct Instructor	外国語 ※ English	備考 Notes
MHED7560	春	SPECIAL SEMINAR IN COMPARATIVE EDUCATION	EDU535-81e00	2	*TAKAYAMA Keita	○	
MHED7590	秋	EDUCATIONAL MANAGEMENT AND LEADERSHIP	EDU536-81e00	2	COELHO Paul	○	
MHED2731	春	論文演習Ⅰ（前期）	EDU607-81j00	2	鈴木 宏		M2対象
MHED2732	秋	論文演習Ⅱ（前期）	EDU608-81j00	2	鈴木 宏		M2対象
MHED2741	春	論文演習Ⅰ（前期）	EDU607-81j00	2	野々村 淑子		M2対象
MHED2742	秋	論文演習Ⅱ（前期）	EDU608-81j00	2	野々村 淑子		M2対象
MHED2771	春	論文演習Ⅰ（前期）	EDU607-81j00	2	奈須 正裕		M2対象
MHED2772	秋	論文演習Ⅱ（前期）	EDU608-81j00	2	奈須 正裕		M2対象
MHED2791	春	論文演習Ⅰ（前期）	EDU607-81j00	2	酒井 朗		M2対象
MHED2792	秋	論文演習Ⅱ（前期）	EDU608-81j00	2	酒井 朗		M2対象
MHED2751	春	論文演習Ⅰ（前期）	EDU607-81j00	2	上野 正道		M2対象
MHED2752	秋	論文演習Ⅱ（前期）	EDU608-81j00	2	上野 正道		M2対象
MHED2761	秋	論文演習Ⅰ（前期）	EDU607-81j00	2	相澤 真一		M2対象
MHED2762	秋	論文演習Ⅱ（前期）	EDU608-81j00	2	相澤 真一		M2対象
MHED2801	春	論文演習Ⅰ（前期）/ACADEMIC WRITING I (MASTER)	EDU607-81e00	2	杉村 美紀 SUGIMURA Miki	○	M2対象
MHED2802	秋	論文演習Ⅱ（前期）/ACADEMIC WRITING II (MASTER)	EDU608-81e00	2	杉村 美紀 SUGIMURA Miki	○	M2対象
MHED2811	春	論文演習Ⅰ（前期）/ACADEMIC WRITING I (MASTER)	EDU607-81e00	2	小松 太郎 KOMATSU Taro	○	M2対象
MHED2812	秋	論文演習Ⅱ（前期）/ACADEMIC WRITING II (MASTER)	EDU608-81e00	2	小松 太郎 KOMATSU Taro	○	M2対象
MHED2821	春	ACADEMIC WRITING I (MASTER)	EDU607-81e00	2	MANZON Maria	○	M2対象
MHED2822	秋	ACADEMIC WRITING II (MASTER)	EDU608-81e00	2	MANZON Maria	○	M2対象
MHED9491	春	修士論文	EDU699-81j00	0	教育学専攻各指導教員		M2対象、9月修了者対象
MHED9490	秋	修士論文	EDU699-81j00	0	教育学専攻各指導教員		M2対象

5. 研究指導一覧表 / Research Guidance List

ナンバリング Numbering	担当教員名 Instructor's Name	備考 Notes
EDU599-81j00	鈴木 宏	
	野々村 淑子	
	奈須 正裕	
	酒井 朗	
	上野 正道	
	相澤 真一	
	杉村 美紀 SUGIMURA Miki	
	小松 太郎 KOMATSU Taro	
EDU599-81e00	MANZON Maria	

教育学専攻 博士後期課程 Doctoral Program in Education

1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件 Requirements for Courses, Credits and Number of Courses Required for Graduation

【18年次生以降／For students who entered from 2018】

要件項目名 Core curriculum	必要 単位数 Credits	必要 科目数 Number of courses	備考（上限、その他） Notes
総単位数／Total credits	18		
授業科目／Courses			
・必修科目 ／Compulsory courses	12		
└論文演習Ⅰ（後期） ／Academic Writing I （Ph. D.）	6	3	3年間（3回）履修すること Students need to register for this course three times （three years） during their studies.
└論文演習Ⅱ（後期） ／Academic Writing II （Ph. D.）	6	3	3年間（3回）履修すること Students need to register for this course three times （three years） during their studies.
・選択科目／Elective courses	6	3	
研究指導（必修） ／Research Guidance（compulsory）		6	単位なし、在学中毎学期登録される。 6科目以上合格すること。 No credits are given. Research Guidance is automatically registered every semester. Students must pass a total of 6 courses.
博士論文 ／Dissertation			必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および試験に 合格すること。博士論文の審査基準は別に定める。 Students need to pass thesis assessment and examination as stipulated in relevant guidelines and regulations.

【17年次生／For students who entered in 2017】

要件項目名 Core curriculum	必要 単位数 Credits	必要 科目数 Number of courses	備考（上限、その他） Notes
総単位数／Total credits	12		
授業科目／Courses			
・必修科目 ／Compulsory courses	12		
└論文演習Ⅰ（後期） ／Academic Writing I （Ph. D.）	6	3	3年間（3回）履修すること Students need to register for this course three times （three years） during their studies.
└論文演習Ⅱ（後期） ／Academic Writing II （Ph. D.）	6	3	3年間（3回）履修すること Students need to register for this course three times （three years） during their studies.
・選択科目／Elective courses			

研究指導（必修） ／Research Guidance (compulsory)		6	単位なし、在学中毎学期登録される。 6科目以上合格すること。 No credits are given. Research Guidance is automatically registered every semester. Students need to pass a total of 6 courses.
博士論文 ／Dissertation			必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および試験に合格すること。博士論文の審査基準は別に定める。 Students need to pass thesis assessment and examination as stipulated in relevant guidelines and regulations.

【研究指導スケジュール／Research Guidance Schedule】

4月に実施する専攻ガイダンスで配布する「博士後期課程の研究スケジュール（指針）」にて、詳細を確認すること。

Students must review “Schedule of Ph.D. Studies in the Graduate Program in Education” carefully and familiarize themselves with the tasks they need to fulfill.

【博士論文審査基準／Doctor’s Thesis Evaluation Criteria】

ディプロマ・ポリシーに掲げた能力等を把握するために、提出された論文を次の水準及び審査項目について審査する。

1. 研究の内容が教育研究に寄与し、オリジナリティを有すること。
2. 研究テーマが絞り込まれた明確なものであること。
3. 国内外の先行研究が網羅的に参照され、明記されていること。引用が正確になされていること。データが適切に処理されていること。
4. 論文の構成が組織立っており、論理が明晰で、論旨が一貫していること。
5. 論文の言語表現が的確で正しいこと。また、目次、註などに関する体裁が整っていること。
6. 当該分野における先端的研究として位置づけられ、執筆者が自立的な研究者として研究を遂行する能力を証するものであること。

1. The paper has originality and contributes to the knowledge base of a relevant field of education. The research is considered the most updated in the field.
2. Research topic is well-defined.
3. Relevant literatures are reviewed comprehensively and cited appropriately. Data are used appropriately.
4. The argument is presented logically and coherently.
5. The paper is written in a clear manner and the way that follows the format required, including the table of contents and a reference list.
6. The paper shows that the researcher is capable of conducting research independently.

2. 授業科目の編成・単位 / Course Structure and Credits

科目名/Course Title *1: Compulsory *2: Compulsory Elective *3: Elective	単位数 Credits		
	必修 *1	選必 *2	選択 *3
教育哲学上級講義			2
教育史上級講義			2
教育方法学上級講義			2
学校臨床社会学上級講義			2
学校教育学上級講義			2
教育社会学上級講義			2
ADVANCED LECTURE IN INTERNATIONAL EDUCATION			2
ADVANCED LECTURE IN INTERNATIONAL EDUCATIONAL DEVELOPMENT			2
ADVANCED LECTURE IN COMPARATIVE EDUCATION			2

科目名/Course Title *1: Compulsory *2: Compulsory Elective *3: Elective	単位数 Credits		
	必修 *1	選必 *2	選択 *3
教育哲学上級演習			2
教育史上級演習			2
教育方法学上級演習			2
学校臨床社会学上級演習			2
学校教育学上級演習			2
教育社会学上級演習			2
ADVANCED SEMINAR IN INTERNATIONAL EDUCATION			2
ADVANCED SEMINAR IN INTERNATIONAL EDUCATIONAL DEVELOPMENT			2
ADVANCED SEMINAR IN COMPARATIVE EDUCATION			2
論文演習Ⅰ（後期） ACADEMIC WRITING I (PH.D.) ※	2		
論文演習Ⅱ（後期） ACADEMIC WRITING II (PH.D.) ※	2		

※「論文演習Ⅰ・Ⅱ（後期）」については、毎年4単位、3年間で合計12単位を履修する。

Students must register for "Academic Writing I (Ph. D.)" and "Academic Writing II (Ph. D.)" every semester for 3 years and obtain a total of 12 credits.

3. 履修上の注意 / Notes for Registration

- 4月の教育学専攻ガイダンスで、専攻主任から研究スケジュールの説明を受けること。
- 指導教員の決定・変更は専攻会議の議を経て行う。1年次の4月中に希望する指導教員の名前を届け出ること。決まっていない場合は、専攻主任に相談すること。指導教員の変更は、専攻主任と相談の上、指導教員の方を得ること。なお、研究指導体制について相談がある場合は、専攻主任ないし研究科委員長に申し出ること。
- 指導教員の「論文演習Ⅰ・Ⅱ」を、毎年必ず受講すること。12単位（4単位×3年）を必修とする。
- 指導教員の「研究指導」（必修）は、在学中毎学期登録される。なお、2017年次生以降の学生については、6科目以上合格すること。
- 2018年次生以降の学生は、「上級講義」「上級演習」の各科目の中から選択科目として3科目6単位履修すること。同一名の科目であっても、年度によって授業内容が変わるものは、重複して履修することができ、単位として認定される。
- 教育学専攻博士前期課程の選択科目は履修することができ、修得単位として認めるが、修了要件にはならない。（履修要覧[大学院科目編]-教育学専攻 博士前期課程-開講科目担当表 参照のこと）
- 指導教員の指導の下に、1年次10月までに博士論文の研究計画を立案すること。指導教員は他に2名の指導委員を依頼し、「指導委員会」を構成するものとする。
- 立案した研究計画をもとに、指導委員会の第一次審査を受けること。
- 第一次審査に合格した者で、2つ以上の論文を学術雑誌に掲載又は採諾されている者は、指導教員の指示により第二次審査を申請することができる。
- 第二次審査を希望する者は、研究計画書（A4判、枚数任意）、研究業績目録（学会発表を含む）、公表論文の抜き刷りを各3部を指導教員に提出すること。
- 博士論文の提出に関しては、「上智大学学位規程教育学専攻内規（課程博士）」に従って、所定の手続きをとること。

1. Students are required to attend a guidance meeting in April and receive a briefing about a research schedule from the chairperson
2. Student advisor is determined at a faculty meeting. Students must notify the chairperson of the name of the advisor they chose during April of their 1st year. Those who have not chosen their advisor by then should consult with the chairperson. Students who want to change their advisor afterwards should consult with the chairperson and obtain the agreement of the advisor regarding the change. If students have any concerns about academic supervision, please contact the chairperson or graduate school Dean.
3. Students must register for “Academic Writing I (Ph. D.)” and “Academic Writing II (Ph. D.)” under the name of their respective advisors every semester for three years to obtain a total of 12 credits.
4. “Research Guidance” under the name of academic advisor is a noncredit course and registered every semester automatically. Students who entered after 2017 need to pass a total of 6 courses of Research Guidance.
5. Students who entered after 2018 need to register for a total of 3 advanced lectures or advanced seminars offered by the Graduate Program in Education and obtain a total of 6 credits. Students can register for a course twice with the same title taught by the same instructor, if the course contents change. The course credits will be counted towards graduation.
6. Students can attend elective courses of Master’s program in Education and obtain credits. However, the earned credits will not be counted towards graduation. (See 履修要覧[大学院科目編]-教育学専攻 博士前期課程-開講科目担当表)
7. Students are expected to produce a research plan under the guidance of their advisor by October of the first year of their studies. A student’s advisor will ask two faculty members in the Graduate Program in Education to join the student’s Advisory Committee.
8. Students will schedule and attend the first Committee assessment meeting and receive feedback on their research plans.
9. Students who pass the first Committee assessment and publish two papers with academic journals, or have an agreement with the publisher(s) for the publication of their papers, can apply for the second Committee assessment.
10. Students who apply for the second Committee assessment are required to submit a 3 sets of research plan, a list of publications and oral presentations at academic conferences, and a copy of their publications to their advisors.
11. Students should submit a doctoral dissertation, in accordance with the Sophia University Graduate Program in Education Regulations concerning Ph.D. program.

4. 開講科目一覧表 / Course List [教育学専攻(後期)/Doctoral Program in Education]

登録コード Registration Code	開講期 Semester	科目名 Course Title	ナンバリング Numbering	単位数 Credits	担当教員名 Instructor's Name *非常勤教員 Adjunct Instructor	外国語 ※ English	備考 Notes
DHED7011	春	教育哲学上級講義	EDU803-81j00	2	鈴木 宏		前期課程科目「教育哲学講義」との合併科目
DHED7012	秋	教育哲学上級演習	EDU804-81j00	2	鈴木 宏		前期課程科目「教育哲学演習」との合併科目
DHED7021	春	教育史上級講義	EDU819-81j00	2	野々村 淑子		前期課程科目「教育史講義」との合併科目
DHED7022	秋	教育史上級演習	EDU820-81j00	2	野々村 淑子		前期課程科目「教育史演習」との合併科目
DHED7031	春	教育方法学上級講義	EDU807-81j00	2	奈須 正裕		前期課程科目「教育方法学講義」との合併科目
DHED7032	秋	教育方法学上級演習	EDU808-81j00	2	奈須 正裕		前期課程科目「教育方法学演習」との合併科目
DHED7041	春	学校臨床社会学上級講義	EDU817-81j00	2	酒井 朗		前期課程科目「学校臨床社会学講義」との合併科目
DHED7042	秋	学校臨床社会学上級演習	EDU818-81j00	2	酒井 朗		前期課程科目「学校臨床社会学演習」との合併科目
DHED7051	春	学校教育学上級講義	EDU809-81j00	2	上野 正道		前期課程科目「学校教育学講義」との合併科目
DHED7052	秋	学校教育学上級演習	EDU810-81j00	2	上野 正道		前期課程科目「学校教育学演習」との合併科目
DHED7061	春	教育社会学上級講義	EDU811-81j00	2	*香川 めい		前期課程科目「教育社会学講義」との合併科目
DHED7062	秋	教育社会学上級演習	EDU812-81j00	2	相澤 真一		前期課程科目「教育社会学演習」との合併科目
DHED7071	春	ADVANCED LECTURE IN INTERNATIONAL EDUCATION	EDU821-81e00	2	SUGIMURA Miki	○	前期課程科目「LECTURE IN INTERNATIONAL EDUCATION」との合併科目
DHED7072	秋	ADVANCED SEMINAR IN INTERNATIONAL EDUCATION	EDU822-81e00	2	SUGIMURA Miki	○	前期課程科目「SEMINAR IN INTERNATIONAL EDUCATION」との合併科目
DHED7081	春	ADVANCED LECTURE IN INTERNATIONAL EDUCATIONAL DEVELOPMENT	EDU823-81e00	2	KOMATSU Taro	○	前期課程科目「LECTURE IN INTERNATIONAL EDUCATIONAL DEVELOPMENT」との合併科目
DHED7082	秋	ADVANCED SEMINAR IN INTERNATIONAL EDUCATIONAL DEVELOPMENT	EDU824-81e00	2	KOMATSU Taro	○	前期課程科目「SEMINAR IN INTERNATIONAL EDUCATIONAL DEVELOPMENT」との合併科目
DHED7092	春	ADVANCED LECTURE IN COMPARATIVE EDUCATION	EDU820-81e00	2	MANZON Maria	○	前期課程科目「LECTURE IN COMPARATIVE EDUCATION」との合併科目
DHED7091	秋	ADVANCED SEMINAR IN COMPARATIVE EDUCATION	EDU819-81e00	2	MANZON Maria	○	前期課程科目「SEMINAR IN COMPARATIVE EDUCATION」との合併科目
DHED3011	春	論文演習Ⅰ(後期)	EDU801-81j00	2	鈴木 宏		
DHED3012	秋	論文演習Ⅱ(後期)	EDU802-81j00	2	鈴木 宏		
DHED3021	春	論文演習Ⅰ(後期)	EDU801-81j00	2	野々村 淑子		
DHED3022	秋	論文演習Ⅱ(後期)	EDU802-81j00	2	野々村 淑子		
DHED3051	春	論文演習Ⅰ(後期)	EDU801-81j00	2	奈須 正裕		
DHED3052	秋	論文演習Ⅱ(後期)	EDU802-81j00	2	奈須 正裕		
DHED3071	春	論文演習Ⅰ(後期)	EDU801-81j00	2	酒井 朗		
DHED3072	秋	論文演習Ⅱ(後期)	EDU802-81j00	2	酒井 朗		
DHED3031	春	論文演習Ⅰ(後期)	EDU801-81j00	2	上野 正道		
DHED3032	秋	論文演習Ⅱ(後期)	EDU802-81j00	2	上野 正道		
DHED3041	春	論文演習Ⅰ(後期)	EDU801-81j00	2	相澤 真一		
DHED3042	秋	論文演習Ⅱ(後期)	EDU802-81j00	2	相澤 真一		
DHED3081	春	論文演習Ⅰ(後期)/ACADEMIC WRITING I (PH. D.)	EDU801-81e00	2	杉村 美紀 SUGIMURA Miki	○	
DHED3082	秋	論文演習Ⅱ(後期)/ACADEMIC WRITING II (PH. D.)	EDU802-81e00	2	杉村 美紀 SUGIMURA Miki	○	
DHED3091	春	論文演習Ⅰ(後期)/ACADEMIC WRITING I (PH. D.)	EDU801-81e00	2	小松 太郎 KOMATSU Taro	○	
DHED3092	秋	論文演習Ⅱ(後期)/ACADEMIC WRITING II (PH. D.)	EDU802-81e00	2	小松 太郎 KOMATSU Taro	○	
DHED3061	春	ACADEMIC WRITING I (PH. D.)	EDU801-81e00	2	MANZON Maria	○	
DHED3062	秋	ACADEMIC WRITING II (PH. D.)	EDU802-81e00	2	MANZON Maria	○	

5. 研究指導一覧表 / Research Guidance List

ナンバリング Numbering	担当教員名 Instructor's Name	備考 Notes
EDU899-81j00	鈴木 宏	
	野々村 淑子	
	奈須 正裕	
	酒井 朗	
	上野 正道	
	相澤 真一	
	杉村 美紀 SUGIMURA Miki	
	小松 太郎 KOMATSU Taro	
EDU899-81e00	MANZON Maria	

心理学専攻 博士前期課程 基礎心理学コース

1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限、その他）
総単位数	34		
授業科目			
・必修科目	8		
└論文演習Ⅰ（前期）	4	2	2年間（2回）履修すること
└論文演習Ⅱ（前期）	4	2	2年間（2回）履修すること
・選択必修科目	8		
・選択科目	18		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる。 ※ただし、国連大学委託聴講科目は認められない。
研究指導（必修）		4	単位なし、在学中毎学期登録される。 4科目以上合格すること。
修士論文			必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および試験に合格すること。修士論文の審査基準は別に定める。 （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

【研究指導スケジュール】

4月に実施する専攻ガイダンスで配布する「博士前期課程における研究スケジュール」にて、詳細を確認すること。

【修士論文審査基準】

ディプロマ・ポリシーに掲げた能力等を把握するために、提出された論文を次の水準及び審査項目について審査する。

1. 問題設定：問題意識が明確で、課題設定が適切であること。
2. 先行研究の理解：先行研究を適切に検討、吟味していること。
3. 研究方法・分析方法：研究目的に対し、研究方法等が適切であること。
4. 論文構成：論文構成が的確で、論理展開に整合性、一貫性があること。
5. 研究の位置づけ：当該分野、領域における社会的・学術的な意義が認められること。
6. 倫理的配慮：研究方法の適切性に留意し、研究対象に対する適切な倫理的配慮を行っていること。各種学会、大学等が定める倫理基準を満たしたものであること。
7. 形式面：以下の形式面が整っていること。
 - 7.1. 章・節の構成が適切であり、目次を見ることで全体の論旨が予想できること。
 - 7.2. 文章が明快で、論旨が明確に理解可能であること。
 - 7.3. 引用が適切で、引用文献表がきちんと整えられていること。
 - 7.4. 論文、引用の基本的体裁が「アメリカ心理学会出版マニュアル」および日本心理学会の「執筆・投稿の手引き」に準拠したものであること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選択	選択
論文演習Ⅰ（前期）	2		
論文演習Ⅱ（前期）	2		
心理測定学特殊研究Ⅰ		2	
心理測定学特殊研究Ⅱ		2	
認知心理学特殊研究Ⅰ		2	
COGNITIVE PSYCHOLOGY 2		2	
生理心理学特殊研究Ⅰ		2	
PHYSIOPSYCHOLOGY 2		2	
発達心理学特殊研究Ⅰ		2	
発達心理学特殊研究Ⅱ		2	
社会心理学特殊研究Ⅰ		2	
社会心理学特殊研究Ⅱ		2	
老年心理学特殊研究		2	
コミュニティ心理学特殊研究※注5		2	
地域・トラウマ支援の心理学特殊研究		2	
人間関係特論 ※注3		2	
人間関係特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）※注4		2	
家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践		2	
福祉心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）			2
司法・犯罪心理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）			2

※注1：言語学専攻開講科目

※注2：社会福祉学専攻開講科目

※注3：2017年度まで開講

※注4：2020年度まで開講

※注5：2022年度まで開講

※注6：神学専攻開講科目

科目名 ※（他）：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選択	選択
心理学研究法演習			2
心理学各論特殊研究 ※注3		2	
心理統計法特論			2
教育臨床特論 ※注3			2
教育臨床特論（教育分野に関する理論と支援の展開）			2
産業心理学特論（産業・労働分野に関する理論と支援の展開）			2
心の健康教育特論（心の健康教育に関する理論と実践）			2
心理学基礎実習Ⅰ			1
心理学基礎実習Ⅱ			1
心理学特殊実習Ⅰ			1
心理学特殊実習Ⅱ			1
（他）分野横断研究法：原理と技法※注6			2
（他）失語・高次脳機能障害学特論A※注1		2	
（他）失語・高次脳機能障害学特論B※注1		2	
（他）言語障害研究特殊講義F（学習障害・脳性麻痺）※注1		2	
（他）臨床医学特論D（神経系の基礎と病態・内科学）※注1			2
（他）臨床医学特論E（小児科学・小児保健・障害学）※注1			2
（他）言語聴覚病理学特論（医学総論・解剖学・生理学・病理学）※注1			2
（他）児童福祉学 ※注2		2	

3. 履修上の注意

下記に従って合計34単位以上を修得し、指導教員の指導のもとに修士論文を作成・提出することが必要である。

○ 全ての科目は繰り返し履修することが可能であり、修了に必要な単位として認められる。

- 1) 必修8単位：「論文演習Ⅰ（前期）」及び「論文演習Ⅱ（前期）」をそれぞれ2年間履修する。
- 2) 「研究指導」（必修）は在学中毎学期登録される。なお、2017年次生以降の学生については、4科目以上合格すること。
- 3) 選択必修8単位：指導教員の指定する科目を履修する（選択必修科目の余剰単位は、選択科目の単位に充当することができる）。
- 4) 選択18単位
- 5) 在学中、臨床心理学コースへのコース変更は認められない。また、以下の科目は臨床心理学コース対象科目のため、履修できない。

【臨床心理学コース対象科目】

臨床心理学特論Ⅰ・Ⅱ、臨床心理面接特論Ⅰ（心理支援に関する理論と実践）、臨床心理面接特論Ⅱ、臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践）、臨床心理査定演習Ⅱ、臨床心理基礎実習Ⅰ・Ⅱ、臨床心理実習Ⅰ、臨床心理実習Ⅱ、臨床心理学研究法演習、精神医学特殊研究（保健医療分野に関する理論と支援の展開）、

認知行動療法特殊研究、精神分析特殊研究、臨床人格心理学特殊研究、臨床心理学特殊実習Ⅰ・Ⅱ（心理実践実習）、グループ・アプローチ特論

- 6) 「心理学特殊実習Ⅰ」及び「心理学特殊実習Ⅱ」を履修しようとする者は、各学期初めに専攻主任に届出し、承認を得た後に履修することができる。
- 7) 「心理学基礎実習Ⅰ」及び「心理学基礎実習Ⅱ」を履修しようとする者は、あらかじめ指導教員と相談すること。
- 8) 学年初めの心理学専攻ガイダンスでの説明、およびガイダンス資料に十分留意し、ここで提示される研究指導の説明に従って研究を進めること。
- 9) 不明な点は指導教員と相談の上、履修を行うこと。
- 10) 前期課程在籍者で、やむをえず9月修了を希望する者は、修了予定年度の前年度末までに理由を説明する願い書（書式は自由）を専攻主任に提出し、専攻会議の承認を受けること。
- 11) 修士論文提出予定者は、2年次に、4月に開催される修士論文中間発表会に出席し、それまでの研究成果と今後の計画を発表すること。
- 12) 毎年度末に、専攻の定める「研究報告書」を提出すること。
- 13) 「(他)分野横断研究法：原理と技法」（神学研究科開講 2単位科目）について
分野横断型の科目として、2022年度から新たに開設された。本科目により修得した単位は、自専攻科目（選択科目）として修了に必要な単位に算入される。
定員30名の抽選科目となるので、抽選エントリーの期間や方法、抽選後の先着順での登録方法等について、履修要覧〔ガイド・資料編〕-Ⅱ.教務-5-1(2)抽選科目についてを参照のこと。
履修登録を行わずに授業に出席することはできない。なお、評価にはP(合格)・X(不合格)を使用する。

【同一科目対照表】

下記の科目は科目名・単位数・担当者が異なっても変更前と変更後の科目は同一科目とみなす。

変更前		変更後		
科目名	開講年度	科目名	開講年度	備考
人間関係特論	～2017	人間関係特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）	2018～	選択必修
人間関係特論 （家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）	～2020	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	2021～	選択必修
教育臨床特論	～2017	教育臨床特論（教育分野に関する理論と支援の展開）	2018～	選択
地域支援の心理学特殊研究	～2025	地域・トラウマ支援の心理学特殊研究	2026～	選択必修

4. 開講科目一覧表[博士前期課程_心理学専攻_基礎心理学コース]

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 *：非常勤教員	外国語	備考
MHPS1311	春	論文演習Ⅰ（前期）	PSY501-82j00	2	鈴木 江津子		
MHPS1321	春	論文演習Ⅰ（前期）	PSY501-82j00	2	毛利 伊吹		
MHPS1331	春	論文演習Ⅰ（前期）	PSY501-82j00	2	齋藤 慈子		
MHPS1341	春	論文演習Ⅰ（前期）	PSY501-82j00	2	吾妻 壮		
MHPS1351	春	論文演習Ⅰ（前期）	PSY501-82j00	2	日高 聡太		
MHPS1361	春	論文演習Ⅰ（前期）	PSY501-82j00	2	松田 修		
MHPS1371	春	論文演習Ⅰ（前期）	PSY501-82j00	2	齋藤 梓		
MHPS1381	春	論文演習Ⅰ（前期）	PSY501-82j00	2	横山 恭子		
MHPS1391	春	論文演習Ⅰ（前期）	PSY501-82j00	2	廣瀬 英子		
MHPS1401	春	論文演習Ⅰ（前期）	PSY501-82j00	2	吉村 聡		
MHPS1421	春	論文演習Ⅰ（前期）	PSY501-82j00	2	樋口 匡貴		
MHPS6230	春	心理測定学特殊研究Ⅰ	PSY523-82j00	2	廣瀬 英子		後期課程「心理測定学上級研究」との合併科目
MHPS6250	春	認知心理学特殊研究Ⅰ	PSY525-82j00	2	日高 聡太		後期課程「認知心理学上級研究」との合併科目
MHPS6290	春	生理心理学特殊研究Ⅰ	PSY529-82j00	2	鈴木 江津子		
MHPS6310	春	発達心理学特殊研究Ⅰ	PSY531-82j00	2	齋藤 慈子		後期課程「発達心理学上級研究」との合併科目
MHPS6330	春	社会心理学特殊研究Ⅰ	PSY533-82j00	2	樋口 匡貴		後期課程「社会心理学上級研究」との合併科目
MHPS6380	春	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	PSY539-82j00	2	齋藤 梓		
MHPS6500	春	地域・トラウマ支援の心理学特殊研究	PSY559-82j00	2	齋藤 梓		後期課程「地域・トラウマ支援の心理学上級研究」との合併科目
MHPS7390	春	心理学研究法演習	PSY553-82j00	2	樋口 匡貴 日高 聡太 齋藤 慈子		後期課程「心理学研究法上級研究」との合併科目
MHPS7410	春	心理統計法特論	PSY541-82j00	2	*萩生田 伸子		
MHPS7430	春	心理学基礎実習Ⅰ	PSY551-82j00	1	齋藤 梓		
MHPS7450	春	心理学特殊実習Ⅰ	PSY556-82j00	1	鈴木 江津子		
MHPS7510	春	心理学特殊実習Ⅰ	PSY556-82j00	1	齋藤 慈子		
MHPS7550	春	心理学特殊実習Ⅰ	PSY556-82j00	1	日高 聡太		
MHPS7630	春	心理学特殊実習Ⅰ	PSY556-82j00	1	廣瀬 英子		
MHPS7700	春	心理学特殊実習Ⅰ	PSY556-82j00	1	樋口 匡貴		
MHPS7810	春	教育臨床特論（教育分野に関する理論と支援の展開）	PSY545-82j00	2	*伊東 孝郎		
MHPS7830	2Q	産業心理学特論（産業・労働分野に関する理論と支援の展開）	PSY593-82j00	2	*大塚 泰正 *小林 由佳 *渡辺 和広		2Q集中、輪講
MHPS7840	2Q	心の健康教育特論（心の健康教育に関する理論と実践）	PSY591-82j00	2	齋藤 梓		2Q集中
MHPS9830	春	修士論文	PSY699-82j00	0	心理学専攻教員		M2対象、9月修了者対象
MHPS1312	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	鈴木 江津子		
MHPS1322	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	毛利 伊吹		
MHPS1332	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	齋藤 慈子		
MHPS1342	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	吾妻 壮		
MHPS1352	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	日高 聡太		
MHPS1362	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	松田 修		
MHPS1372	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	齋藤 梓		

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 *：非常勤教員	外国語	備考
MHPS1382	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	横山 恭子		
MHPS1392	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	廣瀬 英子		
MHPS1402	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	吉村 聡		
MHPS1422	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	樋口 匡貴		
MHPS6240	秋	心理測定学特殊研究Ⅱ	PSY524-82j00	2	廣瀬 英子		「心理測定学特殊研究Ⅰ」を履修済であること
MHPS6260	秋	COGNITIVE PSYCHOLOGY 2	PSY526-82e00	2	日高 聡太	○	
MHPS6300	秋	PHYSIOPSYCHOLOGY 2	PSY561-82e00	2	鈴木 江津子	○	後期課程「ADVANCED PHYSIOPSYCHOLOGY」との合併科目
MHPS6320	秋	発達心理学特殊研究Ⅱ	PSY532-82j00	2	齋藤 慈子		後期課程「発達心理学上級研究」との合併科目
MHPS6340	秋	社会心理学特殊研究Ⅱ	PSY562-82j00	2	樋口 匡貴		
MHPS6350	秋	老年心理学特殊研究	PSY535-82j00	2	松田 修		後期課程「老年心理学上級研究」との合併科目
MHPS6390	秋	福祉心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）	PSY592-82j00	2	*河合 美子		
MHPS6400	秋	司法・犯罪心理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）	PSY594-82j00	2	*室城 隆之		
MHPS7440	秋	心理学基礎実習Ⅱ	PSY552-82j00	1	齋藤 慈子		
MHPS7460	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY557-82j00	1	鈴木 江津子		
MHPS7520	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY557-82j00	1	齋藤 慈子		
MHPS7560	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY557-82j00	1	日高 聡太		
MHPS7640	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY557-82j00	1	廣瀬 英子		
MHPS7710	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY557-82j00	1	樋口 匡貴		
MHPS9820	秋	修士論文	PSY699-82j00	0	心理学専攻教員		M2対象

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
PSY599-82j00	毛利 伊吹	
	齋藤 慈子	
	吾妻 壮	
	日高 聡太	
	松田 修	
	齋藤 梓	
	横山 恭子	
	廣瀬 英子	
	吉村 聡	
	樋口 匡貴	
	鈴木 江津子	

心理学専攻 博士前期課程 臨床心理学コース

1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限、その他）
総単位数	34		
授業科目			
・必修科目	24		
└論文演習Ⅰ（前期）	4	2	2年間（2回）履修すること
└論文演習Ⅱ（前期）	4	2	2年間（2回）履修すること
└臨床心理学特論Ⅰ	2		
└臨床心理学特論Ⅱ	2		
└臨床心理面接特論Ⅰ（心理 支援に関する理論と実践）	2		
└臨床心理面接特論Ⅱ	2		
└臨床心理査定演習Ⅰ（心理 的アセスメントに関する理論と実 践）	2		
└臨床心理査定演習Ⅱ	2		
└臨床心理基礎実習Ⅰ	1		
└臨床心理基礎実習Ⅱ	1		
└臨床心理実習Ⅰ	1		
└臨床心理実習Ⅱ	1		
・選択必修科目	10		
└A群	2		
└B群	2		
└C群	2		
└D群	2		
└E群	2		
・選択科目			
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる。 ※ただし、国連大学委託聴講科目は認められない。
研究指導（必修）		4	単位なし、在学中每学期登録される。 4科目以上合格すること。
修士論文			必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および試験に 合格すること。修士論文の審査基準は別に定める。 （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論 文登録をすること）

【研究指導スケジュール】

4月に実施する専攻ガイダンスで配布する「博士前期課程における研究スケジュール」にて、詳細を確認すること。

【修士論文審査基準】

ディプロマ・ポリシーに掲げた能力等を把握するために、提出された論文を次の水準及び審査項目について審査する。

1. 問題設定：問題意識が明確で、課題設定が適切であること。
2. 先行研究の理解：先行研究を適切に検討、吟味していること。
3. 研究方法：研究目的に対し、研究方法等が適切であること。
4. 論文構成：論文構成が的確で、論理展開に整合性、一貫性があること。
5. 研究の位置づけ：当該分野、領域における社会的・学術的な意義が認められること。
6. 倫理的配慮：研究方法の適切性に留意し、研究対象に対する適切な倫理的配慮を行っていること。各種学会、大学等が定める倫理基準を満たしたものであること。
7. 形式面：以下の形式面が整っていること。
 - 7.1. 章・節の構成が適切であり、目次を見ることで全体の論旨が予想できること。
 - 7.2. 文章が明快で、論旨が明確に理解可能であること。
 - 7.3. 引用が適切で、引用文献表がきちんと整えられていること。
 - 7.4. 論文、引用の基本的体裁が「アメリカ心理学会出版マニュアル」および日本心理学会の「執筆・投稿の手引き」に準拠したものであること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
論文演習Ⅰ(前期)	2		
論文演習Ⅱ(前期)	2		
臨床心理学特論Ⅰ ※注4	2		
臨床心理学特論Ⅱ ※注4	2		
臨床心理面接特論Ⅰ (心理支援に関する理論と実践) ※注4	2		
臨床心理面接特論Ⅱ ※注4	2		
臨床心理査定演習Ⅰ (心理的アセスメントに関する理論と実践) ※注4	2		
臨床心理査定演習Ⅱ ※注4	2		
臨床心理基礎実習Ⅰ ※注4、注5	1		
臨床心理基礎実習Ⅱ ※注4、注5	1		
臨床心理実習Ⅰ ※注4、注5	1		
臨床心理実習Ⅰ(心理実践実習) ※注3、4	1		
臨床心理実習Ⅱ ※注4、注5	1		
< A群 >			
心理学研究法演習		2	
臨床心理学研究法演習 ※注4		2	
< B群 >			
認知心理学特殊研究Ⅰ		2	
COGNITIVE PSYCHOLOGY 2		2	
発達心理学特殊研究Ⅰ		2	
発達心理学特殊研究Ⅱ		2	
心理測定学特殊研究Ⅰ		2	
心理測定学特殊研究Ⅱ		2	
< C群 >			
社会心理学特殊研究Ⅰ		2	
社会心理学特殊研究Ⅱ		2	
地域・トラウマ支援の心理学特殊研究		2	
家族関係・集団・地域社会における心理支援 に関する理論と実践		2	
福祉心理学特論 (福祉分野に関する理論と支援の展開)		2	
司法・犯罪心理学特論(司法・犯罪分野 に関する理論と支援の展開)		2	

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
< D群 >			
精神医学特殊研究(保健医療分野に 関する理論と支援の展開) ※注4		2	
生理心理学特殊研究Ⅰ		2	
PHYSIOPSYCHOLOGY 2		2	
老年心理学特殊研究		2	
(他)失語・高次脳機能障害学特論A ※注1		2	
(他)失語・高次脳機能障害学特論B ※注1		2	
(他)言語障害研究特殊講義F(学習障害・脳性 麻痺) ※注1		2	
< E群 >			
認知行動療法特殊研究 ※注4		2	
精神分析特殊研究 ※注4		2	
グループ・アプローチ特論 ※注4		2	
臨床人格心理学特殊研究 ※注4		2	
< 選択科目 >			
心理統計法特論			2
教育臨床特論 (教育分野に関する理論と支援の展開)			2
産業心理学特論 (産業・労働分野に関する理論と支援の展開)			2
心の健康教育特論 (心の健康教育に関する理論と実践)			2
心理学基礎実習Ⅰ			1
心理学基礎実習Ⅱ			1
臨床心理学特殊実習Ⅰ(心理実践実習) ※注4			1
臨床心理学特殊実習Ⅱ(心理実践実習) ※注4			1
心理学特殊実習Ⅰ			1
心理学特殊実習Ⅱ			1
(他)分野横断研究法：原理と技法 ※注6			2
(他)臨床医学特論(神経系の基礎と病態・内科学) ※注1			2
(他)臨床医学特論(小児科学・小児保健・障害学) ※注1			2
(他)言語聴覚病理学特論(医学総論・解剖学・生理学・病理学) ※注1			2
(他)児童福祉学 ※注2			2

※注1：言語学専攻開講科目

※注2：社会福祉学専攻開講科目

※注3：2018年度のみ開講

※注4：臨床心理学コースに在籍していない学生の履修は認められない

※注5：この実習は、学内施設として総合人間科学研究科心理学専攻に設置された「上智大学臨床心理相談室」と、学外の実習協力施設で行われる。なお、学内施設における実習において学生は、相談研修員として来談者の心理相談等の実践に係る実習を行うため、実習に係る一切の事柄を、相談室スタッフ(主任相談員、相談員)を通じて、または、直接、指導教員と、相談室の運営管理および相談研修員指導の統括責任者である「相談室長」に定期的に報告し、指導を受けなければならない。

※注6：神学専攻開講科目

3. 履修上の注意

下記に従って合計 34 単位以上を修得し、指導教員の指導のもとに修士論文を作成・提出することが必要である。

○ 全ての科目は繰り返し履修することが可能であり、修了に必要な単位として認められる。

- 1) 必修 24 単位：「論文演習Ⅰ(前期)」及び「論文演習Ⅱ(前期)」はそれぞれ 2 年間履修する。(8 単位)
- 2) 「研究指導」(必修)は在学中毎学期登録される。4 科目以上合格すること
- 3) 選択必修科目 10 単位：A～E の各群からそれぞれ 2 単位以上ずつ履修する。
- 4) 「心理学特殊実習Ⅰ」及び「心理学特殊実習Ⅱ」を履修しようとする者は、学年初めに専攻主任に届出し、承認を得た後に履修することができる。
- 5) 「心理学基礎実習Ⅰ」及び「心理学基礎実習Ⅱ」を履修しようとする者は、あらかじめ指導教員と相談すること。
- 6) 分野横断型の科目として、2022 年度から新たに「分野横断研究法：原理と技法」が開設されている。
本科目により修得した単位は、自専攻科目(選択科目)として修了に必要な単位に算入される。定員 30 名の抽選科目となるため、抽選エントリーの期間や方法、抽選後の先着順での登録方法については、履修要覧〔ガイド・資料編〕-Ⅱ.教務-5-1(2) 抽選科目について を参照すること。また、履修登録を行わずに授業に出席することはできないため、履修希望者は忘れずに抽選エントリーを行うこと。
- 7) 学年初めの心理学専攻ガイダンスでの説明、およびガイダンス資料に十分留意し、ここで提示される研究指導の説明に従って研究を進めること。
- 8) 不明な点等は指導教員と相談の上、履修を行うこと。
- 9) 前期課程在籍者で、やむをえず 9 月修了を希望する者は、修了予定年度の前年度末までに理由を説明する願い書(書式は自由)を専攻主任に提出し、専攻会議の承認を受けること。特に臨床心理学コースの場合は臨床実習等において実務上の問題を引き起こす可能性があるため、事前に相談室長の了解を得ておくこと。
- 10) 他専攻や他コースに在学中の者が、臨床心理学コースに編入することは認められない。
- 11) 在学中、基礎心理学コースへのコース変更は認められない。
- 12) 修士論文提出予定者は、2 年次に、4 月に開催される修士論文中間発表会に出席し、それまでの研究成果と今後の計画を発表すること。
- 13) 毎年度末に、専攻の定める「研究報告書」を提出すること。

【同一科目対照表】

下記の科目は科目名・単位数・担当者が異なっても変更前と変更後の科目は同一科目とみなす。

変更前		変更後		
科目名	開講年度	科目名	開講年度	備考
臨床心理実習Ⅰ(心理実践実習)	～2018	臨床心理実習Ⅰ	2019～	必修
人間関係特論 (家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	～2020	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	2021～	選択必修
地域支援の心理学特殊研究	～2025	地域・トラウマ支援の心理学特殊研究	2026～	選択必修

【公認心理師の受験に必要な科目について】

公認心理師試験を受験するには、次の指定科目を履修しなければならない。指定科目に対応する本学での開講科目は以下の通りである。

	公認心理師指定科目	左記に対応する本学授業科目
①	保健医療分野に関する理論と支援の展開	精神医学特殊研究 (保健医療分野に関する理論と支援の展開)
②	福祉分野に関する理論と支援の展開	福祉心理学特論 (福祉分野に関する理論と支援の展開)
③	教育分野に関する理論と支援の展開	教育臨床特論 (教育分野に関する理論と支援の展開)
④	司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開	司法・犯罪心理学特論 (司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)
⑤	産業・労働分野に関する理論と支援の展開	産業心理学特論 (産業・労働分野に関する理論と支援の展開)
⑥	心理的アセスメントに関する理論と実践	臨床心理査定演習Ⅰ (心理的アセスメントに関する理論と実践)
⑦	心理支援に関する理論と実践	臨床心理面接特論Ⅰ (心理支援に関する理論と実践)
⑧	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践
⑨	心の健康教育に関する理論と実践	心の健康教育特論 (心の健康教育に関する理論と実践)
⑩	心理実践実習	臨床心理学特殊実習Ⅰ、Ⅱ (心理実践実習)

4. 開講科目一覧表[博士前期課程_心理学専攻_臨床心理学コース]

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 *:非常勤教員	外国語	備考
MHPS1311	春	論文演習 I (前期)	PSY501-82j00	2	鈴木 江津子		
MHPS1321	春	論文演習 I (前期)	PSY501-82j00	2	毛利 伊吹		
MHPS1331	春	論文演習 I (前期)	PSY501-82j00	2	齋藤 慈子		
MHPS1341	春	論文演習 I (前期)	PSY501-82j00	2	吾妻 壮		
MHPS1351	春	論文演習 I (前期)	PSY501-82j00	2	日高 聡太		
MHPS1361	春	論文演習 I (前期)	PSY501-82j00	2	松田 修		
MHPS1371	春	論文演習 I (前期)	PSY501-82j00	2	齋藤 梓		
MHPS1381	春	論文演習 I (前期)	PSY501-82j00	2	横山 恭子		
MHPS1391	春	論文演習 I (前期)	PSY501-82j00	2	廣瀬 英子		
MHPS1401	春	論文演習 I (前期)	PSY501-82j00	2	吉村 聡		
MHPS1421	春	論文演習 I (前期)	PSY501-82j00	2	樋口 匡貴		
MHPS1810	春	臨床心理学特論 I	PSY511-82j00	2	松田 修		
MHPS1820	秋	臨床心理学特論 II	PSY512-82j00	2	横山 恭子		
MHPS1830	春	臨床心理面接特論 I (心理支援に関する理論と実践)	PSY513-82j00	2	毛利 伊吹		
MHPS1840	春	臨床心理面接特論 II	PSY514-82j00	2	横山 恭子		
MHPS1850	春	臨床心理査定演習 I (心理的アセスメントに関する理論と実践)	PSY515-82j00	2	吉村 聡 松田 修		輪講
MHPS1870	春	臨床心理基礎実習 I	PSY517-82j00	1	毛利 伊吹 松田 修 鹿野 友章 柳楽 明子		複数同時担当
MHPS2770	春	臨床心理実習 I	PSY619-82j00	1	吉村 聡 横山 恭子 齋藤 梓		複数同時担当
MHPS6230	春	心理測定学特殊研究 I	PSY523-82j00	2	廣瀬 英子		後期課程「心理測定学上級研究」との合併科目
MHPS6250	春	認知心理学特殊研究 I	PSY525-82j00	2	日高 聡太		後期課程「認知心理学上級研究」との合併科目
MHPS6270	春	精神医学特殊研究 (保健医療分野に関する理論と支援の展開)	PSY527-82j00	2	*池田 政俊		
MHPS6290	春	生理心理学特殊研究 I	PSY529-82j00	2	鈴木 江津子		
MHPS6310	春	発達心理学特殊研究 I	PSY531-82j00	2	齋藤 慈子		後期課程「発達心理学上級研究」との合併科目
MHPS6330	春	社会心理学特殊研究 I	PSY533-82j00	2	樋口 匡貴		後期課程「社会心理学上級研究」との合併科目
MHPS6380	春	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	PSY539-82j00	2	齋藤 梓		
MHPS6500	春	地域・トラウマ支援の心理学特殊研究	PSY559-82j00	2	齋藤 梓		後期課程「地域・トラウマ支援の心理学上級研究」との合併科目
MHPS7390	春	心理学研究法演習	PSY553-82j00	2	樋口 匡貴 日高 聡太 齋藤 慈子		後期課程「心理学研究法上級研究」との合併科目
MHPS7410	春	心理統計法特論	PSY541-82j00	2	*萩生田 伸子		
MHPS7420	秋	グループ・アプローチ特論	PSY542-82j00	2	*佐藤 豊		
MHPS7430	春	心理学基礎実習 I	PSY551-82j00	1	齋藤 梓		
MHPS7450	春	心理学特殊実習 I	PSY556-82j00	1	鈴木 江津子		
MHPS7510	春	心理学特殊実習 I	PSY556-82j00	1	齋藤 慈子		
MHPS7550	春	心理学特殊実習 I	PSY556-82j00	1	日高 聡太		
MHPS7630	春	心理学特殊実習 I	PSY556-82j00	1	廣瀬 英子		
MHPS7700	春	心理学特殊実習 I	PSY556-82j00	1	樋口 匡貴		
MHPS7720	春	臨床心理学特殊実習 I (心理実践実習)	PSY595-82j00	1	毛利 伊吹 他		輪講
MHPS7810	春	教育臨床特論 (教育分野に関する理論と支援の展開)	PSY545-82j00	2	*伊東 孝郎		

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 *：非常勤教員	外国語	備考
MHPS7830	2Q	産業心理学特論（産業・労働分野に関する理論と支援の展開）	PSY593-82j00	2	*大塚 泰正 *渡辺 和広 *小林 由佳		2Q集中、輪講
MHPS7840	2Q	心の健康教育特論（心の健康教育に関する理論と実践）	PSY591-82j00	2	齋藤 梓		2Q集中
MHPS9830	春	修士論文	PSY699-82j00	0	心理学専攻教員		M2対象、9月修了者対象
MHPS1312	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	鈴木 江津子		
MHPS1322	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	毛利 伊吹		
MHPS1332	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	齋藤 慈子		
MHPS1342	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	吾妻 壮		
MHPS1352	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	日高 聡太		
MHPS1362	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	松田 修		
MHPS1372	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	齋藤 梓		
MHPS1382	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	横山 恭子		
MHPS1392	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	廣瀬 英子		
MHPS1402	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	吉村 聡		
MHPS1422	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502-82j00	2	樋口 匡貴		
MHPS1860	秋	臨床心理査定演習Ⅱ	PSY516-82j00	2	吉村 聡		
MHPS1880	秋	臨床心理基礎実習Ⅱ	PSY518-82j00	1	毛利 伊吹 松田 修 鹿野 友章		複数同時担当
MHPS2780	秋	臨床心理実習Ⅱ	PSY620-82j00	1	齋藤 梓 吉村 聡 横山 恭子		複数同時担当
MHPS6240	秋	心理測定学特殊研究Ⅱ	PSY524-82j00	2	廣瀬 英子		「心理測定学特殊研究Ⅰ」を履修済であること
MHPS6260	秋	COGNITIVE PSYCHOLOGY 2	PSY526-82e00	2	日高 聡太	○	
MHPS6300	秋	PHYSIOPSYCHOLOGY 2	PSY561-82e00	2	鈴木 江津子	○	後期課程「ADVANCED PHYSIOPSYCHOLOGY」との合併科目
MHPS6320	秋	発達心理学特殊研究Ⅱ	PSY532-82j00	2	齋藤 慈子		後期課程「発達心理学上級研究」との合併科目
MHPS6340	秋	社会心理学特殊研究Ⅱ	PSY562-82j00	2	樋口 匡貴		
MHPS6350	秋	老年心理学特殊研究	PSY535-82j00	2	松田 修		後期課程「老年心理学上級研究」との合併科目
MHPS6370	秋	臨床人格心理学特殊研究	PSY537-82j00	2	吉村 聡		後期課程「臨床人格心理学上級研究」との合併科目
MHPS6390	秋	福祉心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）	PSY592-82j00	2	*河合 美子		
MHPS6400	秋	司法・犯罪心理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）	PSY594-82j00	2	*室城 隆之		
MHPS6790	秋	臨床心理学研究法演習	PSY554-82j00	2	吉村 聡 齋藤 梓		輪講
MHPS6810	秋	認知行動療法特殊研究	PSY543-82j00	2	毛利 伊吹		後期課程「認知行動療法上級研究」との合併科目
MHPS7440	秋	心理学基礎実習Ⅱ	PSY552-82j00	1	齋藤 慈子		
MHPS7460	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY557-82j00	1	鈴木 江津子		
MHPS7520	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY557-82j00	1	齋藤 慈子		
MHPS7560	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY557-82j00	1	日高 聡太		
MHPS7640	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY557-82j00	1	廣瀬 英子		
MHPS7710	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY557-82j00	1	樋口 匡貴		
MHPS7730	秋	臨床心理学特殊実習Ⅱ（心理実践実習）	PSY596-82j00	1	吉村 聡 他		輪講
MHPS6280	休講	精神分析特殊研究	PSY544-82j00	2			後期課程「精神分析上級研究」との合併科目
MHPS9820	秋	修士論文	PSY699-82j00	0	心理学専攻教員		M2対象

5. 研究指導一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 *：非常勤教員	外国語	備考
-------	-----	-----	--------	-----	------------------	-----	----

ナンバリング	担当教員名	備考
PSY599-82j00	毛利 伊吹	
	齋藤 慈子	
	吾妻 壮	
	日高 聡太	
	松田 修	
	齋藤 梓	
	横山 恭子	
	廣瀬 英子	
	吉村 聡	
	樋口 匡貴	
	鈴木 江津子	

心理学専攻 博士後期課程

1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件

【18年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限、その他）
総単位数	18		
授業科目			
・必修科目	12		
└論文演習Ⅰ（後期）	6	3	3年間（3回）履修すること
└論文演習Ⅱ（後期）	6	3	3年間（3回）履修すること
・選択科目	6		
研究指導（必修）		6	単位なし、在学中毎学期登録される。 6科目以上合格すること。
博士論文			必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および試験に合格すること。博士論文の審査基準は別に定める。

【研究指導スケジュール】

4月に実施する専攻ガイダンスで配布する「博士後期課程における研究スケジュール」にて、詳細を確認すること。

【博士論文審査基準】

自立した研究者として研究を継続遂行し、当該分野・領域の研究において、将来にわたり独自の貢献を行うことができる能力を有することが認められること。なお、ディプロマ・ポリシーに掲げた能力等を把握するために、提出された論文を次の水準及び審査項目について審査する。

1. 問題設定：問題意識が明確で、課題設定が適切であること。
2. 先行研究の理解：先行研究を適切に検討、吟味していること。
3. 研究方法・分析方法：研究目的に対し、研究方法等が適切であること。
4. 論文構成：論文構成が的確で、論理展開に整合性、一貫性があること。
5. 研究の位置づけ：当該分野、領域における社会的・学術的な意義が認められること。
6. 独創性：全体を通して学術的独創性が認められること。
7. 倫理的配慮：研究方法の適切性に留意し、研究対象に対する適切な倫理的配慮を行っていること。各種学会、大学等が定める倫理基準を満たしたものであること。
8. 形式面：以下の形式面が整っていること。
 - 8.1. 章・節の構成が適切であり、目次を見ることで全体の論旨が予想できること。
 - 8.2. 文章が明快で、論旨が明確に理解可能であること。
 - 8.3. 引用が適切で、引用文献表がきちんと整えられていること。
 - 8.4. 論文、引用の基本的体裁が「アメリカ心理学会出版マニュアル」および日本心理学会の「執筆・投稿の手引き」に準拠したものであること。

なお、博士論文に関しては、心理学専攻博士論文内規に基づき、専攻における構想発表会を経たものであること（心理学専攻内規を参照）。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
論文演習Ⅰ（後期）	2		
論文演習Ⅱ（後期）	2		
認知心理学上級研究			2
社会心理学上級研究			2
地域・トラウマ支援の心理学上級研究			2
心理測定学上級研究			2
心理学研究法上級研究			2
発達心理学上級研究			2
老年心理学上級研究			2
認知行動療法上級研究			2
精神分析上級研究			2
ADVANCED PHYSIOPSYCHOLOGY			2
臨床人格心理学上級研究			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
がん医療心理学演習Ⅰ			1
がんチーム医療演習Ⅰ			1
がん医療心理学特殊講義Ⅰ			1
がん医療心理学実習Ⅰ			1
がん医療心理学演習Ⅱ			1
がんチーム医療演習Ⅱ			1
がん医療心理学特殊講義Ⅱ			1
がん医療心理学実習Ⅱ			1
(他) ジョブ型研究インターンシップⅠ ※注1			2
(他) ジョブ型研究インターンシップⅡ ※注1			2

※注1 理工学研究科開講

3. 履修上の注意

下記に従って18単位以上を修得し、指導教員の指導のもとに博士論文を作成・提出することが必要である。

- 全ての科目は繰り返し履修することが可能であり、修了に必要な単位として認められる。
- 1) 必修12単位：「論文演習Ⅰ（後期）」及び「論文演習Ⅱ（後期）」を3年間履修する。
- 2) 選択6単位：選択科目群の中から、6単位以上の履修が求められる。なお、履修にあたっては、あらかじめ指導教員と相談すること。
- 3) 「研究指導」（必修）は在学中每学期登録される。6科目以上合格すること。
- 4) 博士前期課程開講の「心理学特殊実習Ⅰ」及び「心理学特殊実習Ⅱ」を履修しようとする者は、学年初めに専攻主任に届出し、承認を得た後に履修することができる。
- 5) 博士前期課程開講の「心理学基礎実習Ⅰ」及び「心理学基礎実習Ⅱ」を履修しようとする者は、あらかじめ指導教員と相談すること。
- 6) 博士後期課程にあって博士論文未提出に終わる場合には、3年次の大学院（満期）修了時に、後期課程における研究報告書を専攻に提出すること。報告書は、心理学専攻修了者研究報告集の書式に従い（4000字程度、報告書2ページ分）、在籍中の研究成果（学会発表の内容等）を具体的に盛り込むこと。なお、学会誌発表あるいはそれに準ずる論文がある場合は、業績一覧（2000字程度、報告書1ページ分）をもって研究報告書に代えることができる。業績一覧の書式、内容については、専攻に問い合わせること。
- 7) 年初めの心理学専攻ガイダンスでの説明、およびガイダンス資料に十分留意し、ここで提示される研究指導の説明に従って研究を進め、博士号の取得を目指すこと。
- 8) 不明な点は指導教員と相談の上、履修を行うこと。
- 9) 毎年度末に、専攻の定める「研究報告書」を提出すること。
- 10) 博士論文提出者は、審査願提出時に2編以上の研究論文が学術誌に掲載されていること（掲載決定を含む）。提出に際しては、心理学専攻の定める「学位（博士）論文の審査手続きに関する内規」に従って、所定の手続きをとること。

【がん医療心理学関連科目】

2013 年度より開設された 4 大学院の連携授業（「がん医療心理学演習Ⅰ」、「がん医療心理学特殊講義Ⅰ」など）について、8 単位以上を取得したときに、修了認定証が与えられる。なお、履修に際しては、講義、演習、実習、ワークショップの異なる種別の科目を履修することが望ましい。詳細は専攻主任に確認すること。また、これらの科目の履修にあたっては、あらかじめ専攻主任に相談すること。

4. 開講科目一覧表[博士後期課程_心理学専攻]

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 *：非常勤教員	外国語	備考
DHPS3311	春	論文演習Ⅰ（後期）	PSY811-82j00	2	鈴木 江津子		
DHPS3321	春	論文演習Ⅰ（後期）	PSY811-82j00	2	毛利 伊吹		
DHPS3331	春	論文演習Ⅰ（後期）	PSY811-82j00	2	齋藤 慈子		
DHPS3341	休講	論文演習Ⅰ（後期）	PSY811-82j00	2			
DHPS3351	春	論文演習Ⅰ（後期）	PSY811-82j00	2	日高 聡太		
DHPS3361	春	論文演習Ⅰ（後期）	PSY811-82j00	2	松田 修		
DHPS3371	春	論文演習Ⅰ（後期）	PSY811-82j00	2	齋藤 梓		
DHPS3381	春	論文演習Ⅰ（後期）	PSY811-82j00	2	横山 恭子		
DHPS3391	春	論文演習Ⅰ（後期）	PSY811-82j00	2	廣瀬 英子		
DHPS3401	春	論文演習Ⅰ（後期）	PSY811-82j00	2	吉村 聡		
DHPS3421	春	論文演習Ⅰ（後期）	PSY811-82j00	2	樋口 匡貴		
DHPS7000	春	認知心理学上級研究	PSY833-82j00	2	日高 聡太		前期課程「認知心理学特殊研究Ⅰ」と合併
DHPS7010	春	社会心理学上級研究	PSY838-82j00	2	樋口 匡貴		前期課程「社会心理学特殊研究Ⅰ」と合併
DHPS7200	春	地域・トラウマ支援の心理学上級研究	PSY842-82j00	2	齋藤 梓		前期課程「地域・トラウマ支援の心理学特殊研究」と合併
DHPS7030	春	心理測定学上級研究	PSY836-82j00	2	廣瀬 英子		前期課程「心理測定学特殊研究Ⅰ」と合併
DHPS7040	春	心理学研究法上級研究	PSY840-82j00	2	樋口 匡貴 日高 聡太 齋藤 慈子		前期課程「心理学研究法演習」と合併
DHPS3510	春	がん医療心理学演習Ⅰ	PSY821-82j00	1	心理学専攻教員 他		春学期集中、4大学院の連携授業
DHPS3530	春	がん医療心理学特殊講義Ⅰ	PSY825-82j00	1	心理学専攻教員 他		4大学院の連携授業
DHPS3520	春	がんチーム医療演習Ⅰ	PSY823-82j00	1	心理学専攻教員 他		4大学院の連携授業
DHPS3540	春	がん医療心理学実習Ⅰ	PSY827-82j00	1	心理学専攻教員 他		4大学院の連携授業
DHPS3312	秋	論文演習Ⅱ（後期）	PSY812-82j00	2	鈴木 江津子		
DHPS3322	秋	論文演習Ⅱ（後期）	PSY812-82j00	2	毛利 伊吹		
DHPS3332	秋	論文演習Ⅱ（後期）	PSY812-82j00	2	齋藤 慈子		
DHPS3342	休講	論文演習Ⅱ（後期）	PSY812-82j00	2			
DHPS3352	秋	論文演習Ⅱ（後期）	PSY812-82j00	2	日高 聡太		
DHPS3362	秋	論文演習Ⅱ（後期）	PSY812-82j00	2	松田 修		
DHPS3372	秋	論文演習Ⅱ（後期）	PSY812-82j00	2	齋藤 梓		
DHPS3382	秋	論文演習Ⅱ（後期）	PSY812-82j00	2	横山 恭子		
DHPS3392	秋	論文演習Ⅱ（後期）	PSY812-82j00	2	廣瀬 英子		
DHPS3402	秋	論文演習Ⅱ（後期）	PSY812-82j00	2	吉村 聡		
DHPS3422	秋	論文演習Ⅱ（後期）	PSY812-82j00	2	樋口 匡貴		
DHPS7050	春	発達心理学上級研究	PSY839-82j00	2	齋藤 慈子		前期課程「発達心理学特殊研究Ⅰ」と合併
DHPS7060	秋	老年心理学上級研究	PSY834-82j00	2	松田 修		前期課程「老年心理学特殊研究」と合併
DHPS7070	秋	認知行動療法上級研究	PSY831-82j00	2	毛利 伊吹		前期課程「認知行動療法特殊研究」と合併
DHPS7080	休講	精神分析上級研究	PSY832-82j00	2			前期課程「精神分析特殊研究」と合併
DHPS7090	秋	ADVANCED PHYSIO PSYCHOLOGY	PSY841-82e00	2	鈴木 江津子	○	前期課程「PHYSIO PSYCHOLOGY 2」と合併
DHPS7100	秋	臨床人格心理学上級研究	PSY837-82j00	2	吉村 聡		前期課程「臨床人格心理学特殊研究」と合併
DHPS3511	秋	がん医療心理学演習Ⅱ	PSY822-82j00	1	心理学専攻教員 他		秋学期集中、4大学院の連携授業
DHPS3531	秋	がん医療心理学特殊講義Ⅱ	PSY826-82j00	1	心理学専攻教員 他		4大学院の連携授業

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 *：非常勤教員	外国語	備考
DHPS3521	秋	がんチーム医療演習Ⅱ	PSY824-82j00	1	心理学専攻教員 他		4大学院の連携授業
DHPS3541	秋	がん医療心理学実習Ⅱ	PSY828-82j00	1	心理学専攻教員 他		4大学院の連携授業

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
PSY899-82j00	毛利 伊吹	
	齋藤 慈子	
	吾妻 壮	
	日高 聡太	
	松田 修	
	齋藤 梓	
	横山 恭子	
	廣瀬 英子	
	吉村 聡	
	樋口 匡貴	
	鈴木 江津子	

社会学専攻 博士前期課程

1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限、その他）
総単位数	30		
授業科目			
・必修科目	8		
└社会学理論	2		
└社会学方法論	2		
└論文演習Ⅰ	2		
└論文演習Ⅱ	2		
・選択科目	22		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認める。
研究指導（必修）		4	単位なし、在学中毎学期登録される。 4科目以上合格すること。
修士論文			必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および試験に合格すること。 （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること） 修士論文の審査基準は別に定める。

【研究指導スケジュール】

	対象学年	期 日	備 考
大学院生ガイダンス	全員	4月初め	
指導教員希望届提出	新入生	4月初め	
論文演習履修登録	M2以上	春・秋学期履修登録期間	
研究計画書提出	全員	4月末	
修士論文提出予定書提出	M2以上	7月末	修士論文提出予定者
修士論文中間報告会	M2以上	9月下旬	修士論文提出予定者 （出席は、希望者全員）
修士論文履修登録	M2以上	履修登録期間	修士論文提出予定者
修士論文題目届提出	M2以上	11月末	修士論文提出予定者
修士論文提出	M2以上	1月中旬	
修士論文口頭試問	M2以上	2月初旬	修士論文提出者
研究報告書提出	全員	2月末	

【修士論文審査基準】

ディプロマ・ポリシーに掲げた能力等を把握するために、提出された論文を次の審査項目について、十分な水準に達しているか審査する。

1. 明確な問題意識により課題設定がなされていること。
2. 論文全体が的確に構成され、総合的で一貫した論理展開がなされていること。
3. 研究対象分野における既存の研究成果が適切に検討・理解されていること。
4. 当該分野に関する知識の向上に対して何らかの貢献が行われていること。
5. 文章表現が明快であること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
社会学理論	2		
社会学方法論	2		
比較雇用関係論Ⅰ			2
比較雇用関係論Ⅱ			2
地域社会学特講			2
環境社会学特講			2
SEMINAR ON SOCIAL MOVEMENTS			2
歴史社会学特講			2
宗教社会学特講Ⅰ			2
宗教社会学特講Ⅱ			2
グローバル化と国際移動と人権			2
SEMINAR ON GLOBALIZATION, INTERNATIONAL MIGRATION AND HUMAN RIGHTS			2
ライフコース研究Ⅰ			2
ライフコース研究Ⅱ			2

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
SEMINAR ON SOCIAL CHANGE 1※注1			2
SEMINAR ON SOCIAL CHANGE 2※注1			2
SEMINAR ON SUSTAINABLE SOCIETIES 1			2
SEMINAR ON SUSTAINABLE SOCIETIES 2			2
ジェンダーと自己・社会構造Ⅰ			2
ジェンダーと自己・社会構造Ⅱ			2
医療と科学技術の社会学Ⅰ			2
医療と科学技術の社会学Ⅱ			2
現代社会理論特講			2
社会学研究法Ⅰ			2
社会学研究法Ⅱ			2
中国の地域社会1※注2			2
中国の地域社会2※注3			2
(他) POLITICAL SOCIOLOGY 1(THEORY)※注3			2
(他) POLITICAL SOCIOLOGY 2(EMPIRICAL RESEARCH)※注3			2
(他) 国際社会学研究1(基礎)※注4			2
(他) 国際社会学研究2(応用)※注4			2
(他) 分野横断研究法：原理と技法 ※注5			2
論文演習Ⅰ(M2)	2		
論文演習Ⅱ(M2)	2		

※注1：2022年度まで開講

※注2：2023年度まで開講

※注3：2024年度まで開講

※注4：国際関係論専攻開講科目

※注5：神学専攻開講科目

3. 履修上の注意

- 1) 本専攻では前期課程2年間において、30単位以上(「論文演習Ⅰ・Ⅱ」4単位を含む)を履修し、修士論文を提出することを修了の必須要件とする。
- 2) 毎年度4月に開催される専攻ガイダンスにおける指示に従って、各自専任教員一名を指導教員として定め、その指導のもとに所定の科目を履修し、かつ論文を作成すること。
- 3) 論文演習Ⅰ・Ⅱは、原則として指導教員による科目のみを履修することとし、同一学期に複数の科目を履修することはできない。
- 4) 「研究指導」(必修)は在学中毎学期登録される。4科目以上合格すること。
- 5) 修士論文提出予定者は、修士論文を提出する学期の履修登録期間に、必ず「修士論文」を履修登録すること。
- 6) 毎年度、専攻の定める「研究計画書」を4月末までに、及び「研究報告書」を2月末までに提出すること。
- 7) 修士論文提出予定者は「提出予定書」を7月末までに、及び「題目届」を11月末までに提出すること。
- 8) 「(他) 分野横断研究法：原理と技法」(神学研究科開講 2単位科目)について 分野横断型の科目として、2022年度から新たに開設された。本科目により修得した単位は、自専攻科目(選択科目)として修了に必要な単位に算入させる。定員30名の抽選科目となるので、抽選エントリーの期間や方法、抽選後の先着順での登録方法等について、履修要覧〔ガイド・資料編〕Ⅱ.教務-5-1(2)抽選科目についてを参照のこと。履修登録を行わずに授業に出席することはできない。なお、評価にはP(合格)・X(不合格)を使用する。

4. 開講科目一覧表[博士前期課程_社会学専攻]

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 *:非常勤教員	外国語	備考
MHSC1110	春	社会学理論	SOC504-83j00	2	猿谷 弘江		
MHSC1120	秋	社会学方法論	SOC505-83j00	2	中澤 秀雄		
MHSC2431	春	論文演習 I	SOC601-83j00	2	芳賀 学		M2対象
MHSC2461	春	論文演習 I	SOC601-83j00	2	田淵 六郎		M2対象
MHSC2491	春	論文演習 I	SOC601-83j00	2	今井 順		M2対象
MHSC2471	春	論文演習 I	SOC601-83j00	2	猿谷 弘江		M2対象
MHSC2501	春	論文演習 I	SOC601-83j00	2	HOMMERICH Carola		M2対象
MHSC2503	春	論文演習 I	SOC601-83j00	2	中澤 秀雄		M2対象
MHSC2505	春	論文演習 I	SOC601-83j00	2	石井 由香理		M2対象
MHSC2441	春	論文演習 I	SOC601-83j00	2	細木 一十稔 ラルフ		M2対象
MHSC7130	春	宗教社会学特講 I	SOC511-83j00	2	芳賀 学		後期課程「宗教社会学応用研究 I」との 合併科目
MHSC7210	春	ライフコース研究 I	SOC508-83j00	2	田淵 六郎		後期課程「ライフコース応用研究 I」と の合併科目
MHSC7320	春	比較雇用関係論 I	SOC521-83j00	2	今井 順		後期課程「比較雇用関係論応用研究 I」 との合併科目
MHSC7370	春	地域社会学特講	SOC519-83j00	2	中澤 秀雄		後期課程「地域社会学応用研究」との合 併科目
MHSC7350	休講	ジェンダーと自己・社会構造 I	SOC524-83j00	2			後期課程「ジェンダーと自己・社会構造 応用研究 I」との合併科目
MHSC7230	春	グローバル化と国際移動と人権	SOC502-83j00	2	細木 一十稔 ラルフ		後期課程「グローバル化と国際移動と人 権応用研究」との合併科目
MHSC7390	休講	SEMINAR ON SUSTAINABLE SOCIETIES 1	SOC527-83e00	2		○	後期課程「ADVANCED STUDIES IN SUSTAINABLE SOCIETIES 1」との合併科目
MHSC7190	春	医療と科学技術の社会学I	SOC531-83j00	2	志水 洋人		後期課程「医療と科学技術の社会学応用 研究I」との合併科目
MHSC2432	秋	論文演習 II	SOC602-83j00	2	芳賀 学		M2対象
MHSC2462	秋	論文演習 II	SOC602-83j00	2	田淵 六郎		M2対象
MHSC2492	秋	論文演習 II	SOC602-83j00	2	今井 順		M2対象
MHSC2472	秋	論文演習 II	SOC602-83j00	2	猿谷 弘江		M2対象
MHSC2502	秋	論文演習 II	SOC602-83j00	2	HOMMERICH Carola		M2対象
MHSC2504	秋	論文演習 II	SOC602-83j00	2	中澤 秀雄		M2対象
MHSC2506	秋	論文演習 II	SOC602-83j00	2	石井 由香理		M2対象
MHSC2442	秋	論文演習 II	SOC602-83j00	2	細木 一十稔 ラルフ		M2対象
MHSC7140	秋	宗教社会学特講 II	SOC512-83j00	2	芳賀 学		後期課程「宗教社会学応用研究 II」との 合併科目
MHSC7220	秋	ライフコース研究 II	SOC509-83j00	2	田淵 六郎		後期課程「ライフコース応用研究 II」と の合併科目
MHSC7260	秋	社会学研究法 I	SOC515-83j00	2	*北村 友宏		隔年開講
MHSC7270	休講	社会学研究法 II	SOC516-83j00	2			隔年開講
MHSC7330	秋	比較雇用関係論 II	SOC522-83j00	2	今井 順		後期課程「比較雇用関係論応用研究 II」 との合併科目
MHSC7380	秋	環境社会学特講	SOC520-83j00	2	中澤 秀雄		後期課程「環境社会学応用研究」との合 併科目
MHSC7360	休講	ジェンダーと自己・社会構造 II	SOC526-83j00	2			後期課程「ジェンダーと自己・社会構造 応用研究 II」との合併科目
MHSC7290	秋	歴史社会学特講	SOC517-83j00	2	猿谷 弘江		後期課程「歴史社会学応用研究」との合 併科目
MHSC7250	秋	現代社会理論特講	SOC510-83j00	2	*藤村 正之		
MHSC7280	秋	SEMINAR ON SOCIAL MOVEMENTS	SOC518-83e00	2	猿谷 弘江	○	後期課程「ADVANCED STUDIES IN SOCIAL MOVEMENTS」との合併科目
MHSC7240	秋	SEMINAR ON GLOBALIZATION, INTERNATIONAL MIGRATION AND HUMAN RIGHTS	SOC503-83e00	2	細木 一十稔 ラルフ	○	後期課程「ADVANCED STUDIES IN GLOBALIZATION, INTERNATIONAL MIGRATION AND HUMAN RIGHTS」との合併 科目

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 *：非常勤教員	外国語	備考
MHSC7400	休講	SEMINAR ON SUSTAINABLE SOCIETIES 2	SOC528-83e00	2		○	後期課程「ADVANCED STUDIES IN SUSTAINABLE SOCIETIES 2」との合併科目
MHSC7200	秋	医療と科学技術の社会学II	SOC532-83 j00	2	志水 洋人		後期課程「医療と科学技術の社会学応用研究II」との合併科目
MHSC9360	秋	修士論文	SOC699-83 j00	0	社会学専攻各指導教員		M2対象
MHSC9361	春	修士論文	SOC699-83 j00	0	社会学専攻各指導教員		M2対象、9月修了者対象

他専攻開講科目（自専攻開講科目扱い）については、「2. 授業科目の編成・単位」の頁を参照

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
SOC599-83 j00	芳賀 学	
	田渕 六郎	
	猿谷 弘江	
	今井 順	
	HOMMERICH Carola	
	中澤 秀雄	
	石井 由香理	
	細木 一十稔 ラルフ	

社会学専攻 博士後期課程

1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件

【18年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限、その他）
総単位数	6		
授業科目			
・選択科目	6	3	
研究指導（必修）		6	単位なし、在学中每学期登録される。 6科目以上合格すること。
博士論文			博士論文の提出には、博士論文資格試験・構想審査を終了している必要がある。 それらの詳細については4月ガイダンス時に資料を配布する。 博士論文の審査基準は別に定める。

【17年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限、その他）
総単位数			
授業科目			
・選択科目			
研究指導（必修）		6	単位なし、在学中每学期登録される。 6科目以上合格すること。
博士論文			博士論文の提出には、博士論文資格試験・構想審査を終了している必要がある。 それらの詳細については4月ガイダンス時に資料を配布する。 博士論文の審査基準は別に定める。

【研究指導スケジュール】

	対象学年	期 日
大学院生ガイダンス	全員	4月初め
指導教員希望届提出	新入生	4月初め
研究計画書提出	全員	4月末
研究報告書提出	全員	2月末

※その他詳細については、4月に実施する専攻ガイダンスの資料で確認すること。

【博士論文審査基準】

ディプロマ・ポリシーに掲げた能力等を把握するために、提出された論文を次の審査項目について、十分な水準に達しているか審査する。

1. 明確な問題意識により課題設定がなされていること。
2. 論文全体が的確に構成され、整合的で一貫した論理展開がなされていること。
3. 研究対象分野における既存の研究成果が網羅的に検討され、十分に理解されていること。
4. 当該分野に関する知識に対して独自の貢献が行われていること。具体的には、新たな事実の発見や自立した批判的思考を通して独創性が示されていること。
5. 文章表現が明快であること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
比較雇用関係論応用研究Ⅰ			2
比較雇用関係論応用研究Ⅱ			2
地域社会学応用研究			2
環境社会学応用研究			2
ADVANCED STUDIES IN SOCIAL MOVEMENTS			2
歴史社会学応用研究			2
宗教社会学応用研究Ⅰ			2
宗教社会学応用研究Ⅱ			2
グローバル化と国際移動と人権 応用研究			2
ADVANCED STUDIES IN GLOBALIZATION, INTERNATIONAL MIGRATION AND HUMAN RIGHTS			2
ライフコース応用研究Ⅰ			2
ライフコース応用研究Ⅱ			2
ADVANCED STUDIES IN SOCIAL CHANGE 1 ※注			2
ADVANCED STUDIES IN SOCIAL CHANGE 2 ※注			2
ADVANCED STUDIES IN SUSTAINABLE SOCIETIES 1			2
ADVANCED STUDIES IN SUSTAINABLE SOCIETIES 2			2
ジェンダーと自己・社会構造応用研究Ⅰ			2
ジェンダーと自己・社会構造応用研究Ⅱ			2
医療と科学技術の社会学応用研究Ⅰ			2
医療と科学技術の社会学応用研究Ⅱ			2

※注：2022年度まで開講

3. 履修上の注意

【全学年共通】

1. 毎年度専攻の定める「研究計画書」を4月末までに、及び「研究報告書」を2月末までに提出すること。
2. 社会学専攻博士前期課程の選択科目も履修することが出来る。(博士前期課程 社会学専攻-4. 開講科目一覧表を参照のこと)

【18年次生以降】

後期課程を修了するためには3年以上在学し、「研究指導」を毎学期履修すること(在学中、毎学期登録される。)。また、後期課程選択科目(前期課程との合併科目)を6単位以上修得すること、「研究指導」6科目以上合格することを修了の要件とする。

【17年次生】

後期課程を修了するためには3年以上在学し、「研究指導」を毎学期履修すること(在学中、毎学期登録される。)。6科目以上合格すること。

4. 開講科目一覧表[博士後期課程_社会学専攻]

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 *:非常勤教員	外国語	備考
DHSC7030	春	宗教社会学応用研究 I	SOC803-83j00	2	芳賀 学		前期課程「宗教社会学特講 I」との合併科目
DHSC7050	春	ライフコース応用研究 I	SOC805-83j00	2	田淵 六郎		前期課程「ライフコース研究 I」との合併科目
DHSC7010	秋	歴史社会学応用研究	SOC801-83j00	2	猿谷 弘江		前期課程「歴史社会学特講」との合併科目
DHSC7130	春	比較雇用関係論応用研究 I	SOC811-83j00	2	今井 順		前期課程「比較雇用関係論 I」との合併科目
DHSC7200	春	地域社会学応用研究	SOC807-83j00	2	中澤 秀雄		前期課程「地域社会学特講」との合併科目
DHSC7070	春	グローバル化と国際移動と人権応用研究	SOC815-83j00	2	細木 一十稔 ラルフ		前期課程「グローバル化と国際移動と人権」との合併科目
DHSC7220	休講	ADVANCED STUDIES IN SUSTAINABLE SOCIETIES 1	SOC822-83e00	2		○	前期課程「SEMINAR ON SUSTAINABLE SOCIETIES 1」との合併科目
DHSC7180	休講	ジェンダーと自己・社会構造応用研究 I	SOC819-83j00	2			前期課程「ジェンダーと自己・社会構造 I」との合併科目
DHSC7240	春	医療と科学技術の社会学応用研究 I	SOC824-83j00	2	志水 洋人		前期課程「医療と科学技術の社会学I」との合併科目
DHSC7040	秋	宗教社会学応用研究 II	SOC804-83j00	2	芳賀 学		前期課程「宗教社会学特講 II」との合併科目
DHSC7060	秋	ライフコース応用研究 II	SOC806-83j00	2	田淵 六郎		前期課程「ライフコース研究 II」との合併科目
DHSC7020	秋	ADVANCED STUDIES IN SOCIAL MOVEMENTS	SOC802-83e00	2	猿谷 弘江	○	前期課程「SEMINAR ON SOCIAL MOVEMENTS」との合併科目
DHSC7210	秋	環境社会学応用研究	SOC808-83j00	2	中澤 秀雄		前期課程「環境社会学特講」との合併科目
DHSC7140	秋	比較雇用関係論応用研究 II	SOC812-83j00	2	今井 順		前期課程「比較雇用関係論 II」との合併科目
DHSC7080	秋	ADVANCED STUDIES IN GLOBALIZATION, INTERNATIONAL MIGRATION AND HUMAN RIGHTS	SOC816-83e00	2	細木 一十稔 ラルフ	○	前期課程「SEMINAR ON GLOBALIZATION, INTERNATIONAL MIGRATION AND HUMAN RIGHTS」との合併科目
DHSC7230	休講	ADVANCED STUDIES IN SUSTAINABLE SOCIETIES 2	SOC823-83e00	2		○	前期課程「SEMINAR ON SUSTAINABLE SOCIETIES 2」との合併科目
DHSC7190	休講	ジェンダーと自己・社会構造応用研究 II	SOC821-83j00	2			前期課程「ジェンダーと自己・社会構造 II」との合併科目
DHSC7250	秋	医療と科学技術の社会学応用研究 II	SOC825-83j00	2	志水 洋人		前期課程「医療と科学技術の社会学II」との合併科目

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
SOC899-83j00	芳賀 学	
	田淵 六郎	
	猿谷 弘江	
	今井 順	
	HOMMERICH Carola	
	中澤 秀雄	
	石井 由香理	
	細木 一十稔 ラルフ	

社会福祉学専攻 博士前期課程

1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件

【23年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限、その他）
総単位数	30		
授業科目			
・必修科目	10		
└社会福祉研究法基礎	2		
└論文演習Ⅰ・Ⅱ	8		論文演習Ⅰ・Ⅱを通算4回履修すること。
・選択科目	20		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる。
指導科目			
研究指導（必修）		4 (6)	単位なし、在学中每学期登録される。 4科目以上（長期履修学生は6科目以上）合格すること。
修士論文			必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および試験に合格すること。修士論文の審査基準は別に定める。 (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

【22年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限、その他）
総単位数	30		
授業科目			
・必修科目	4		
└社会福祉研究法基礎	4		
・選択科目	26		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる。
指導科目			
研究指導（必修）		4 (6)	単位なし、在学中每学期登録される。 4科目以上（長期履修学生は6科目以上）合格すること。
修士論文			必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および試験に合格すること。修士論文の審査基準は別に定める。 (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

【研究指導スケジュール】

4月に実施する専攻別ガイダンスで配布する「社会福祉学専攻 博士前期課程 研究指導計画」にて、詳細を確認すること。

【修士論文審査基準】

ディプロマ・ポリシーに掲げた能力等を把握するために、提出された論文を次の水準及び審査項目について審査する。

1. 研究テーマの設定が適切であり、社会福祉の理念・政策・実践との関連付けが明確であること。
2. 先行研究を的確に踏まえ、レビューが十分になされていること。
3. 研究目的に照らして研究方法が妥当であり、明確な結果が導き出されていること。
4. 論文構成が明快であり、論理の展開に一貫性があること。
5. 考察および結論に新たな知見が含まれていること。
6. 研究倫理上の問題がないこと。
7. 日本社会福祉学会誌執筆要領(注および文献の表示等)ないし社会政策学会誌執筆要領等に適合しており、学術論文としての体裁が整っていること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
社会福祉研究法基礎 ※注1	2		
論文演習Ⅰ ※注4	2		
論文演習Ⅱ ※注4	2		
社会福祉政策・臨床研究法基礎			2
福祉政策運営管理研究法基礎 ※注6			2
福祉臨床研究法基礎 ※注6			2
QUALITATIVE SOCIAL WORK RESEARCH ※注2			1
SOCIAL WORK WITH SELF-HELP GROUPS ※注2			1
社会福祉政策学Ⅰ			1
社会福祉政策学Ⅱ			1
社会福祉経営学※注2			2
福祉サービス経営管理論Ⅰ※注2			1
福祉サービス経営管理論Ⅱ※注2			1
社会保障特殊講義			2
社会政策とジェンダー			2
統計調査研究			2
生活困窮支援政策学			2
ソーシャルケースワーク研究			2
コミュニティーオーガニゼーション研究 ※注2			2
当事者福祉研究			2
障害者福祉学			2
高齢者福祉研究			2
NARRATIVE IN SOCIAL WORK RESEARCH			1
QUALITATIVE RESEARCH METHODS FOR SOCIAL WORKERS ※注5			1
INTRODUCTION TO THE INTERNATIONAL SOCIAL WORK DISCOURSES			2
知的障害者福祉学			2
児童福祉学			2
精神保健福祉研究 ※注3			2
医療ソーシャルワーク研究Ⅰ			1
医療ソーシャルワーク研究Ⅱ			1
司法福祉研究 ※注3			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
ORGANIZATIONAL MANAGEMENT AND LEADERSHIP ※注2			1
権利擁護関係法制論			2
リスクマネジメント事例研究※注2			2
生活構造論研究 ※注5			2
JAPAN' S SOCIAL SECURITY SYSTEM : INSURING THE WORLD' S OLDEST COUNTRY ※注3			1
CONTEMPORARY THEORIES AND TRENDS IN SOCIAL WORK ※注3			2
THE CO-PRODUCTION OF PUBLIC AND SOCIAL SERVICES ※注3			2
社会福祉フィールドワークA※注3			0
社会福祉フィールドワークB※注3			2
社会福祉フィールドワーク			1
援助事例分析A※注3			0
援助事例分析B※注3			2
援助事例分析			1
社会政策・経営事例分析A※注3			0
社会政策・経営事例分析B※注3			2
社会政策・経営事例分析			1
(他) 分野横断研究法：原理と技法 ※注7			2

※注1 2022年次生以前は4単位

※注2 2020年度まで開講

※注3 2022年度まで開講

※注4 2022年次生以前は選択科目（詳細は次ページ参照）

※注5 2023年度まで開講

※注6 2024年度まで開講

※注7 全入学年次生対象

3. 履修上の注意

- 4月の専攻別ガイダンスで配布する「社会福祉学専攻履修上の注意」に従って履修すること。
- 専任教員1名を指導教員として定め、その教員の研究指導計画のもとで研究計画を練り、研究の報告や修士論文の作成を行うこと。さらに別の専任教員1名をアドバイザーとして定め、適宜研究の報告や助言を得ること。
- 当該年度に修士論文を提出予定の者は、11月の研究進捗報告会において研究内容を発表して指導を受けること。
- 「論文演習Ⅰ・Ⅱ」は通算4回まで、それ以外のすべての科目は繰り返し履修することが可能であり、修了に必要な単位として認められる。必修科目「社会福祉研究法基礎」を重複して履修した場合の超過単位数は、選択科目に充当する。
- 前期課程において30単位以上を修得するとともに、「研究指導」（単位なし）を毎学期履修し、修士論文を提出すること。
- 「研究指導」は在学中毎学期登録される。4科目以上（長期履修学生は6科目以上）合格すること。

- 7) 2023 年次生以降の学生は、毎学期指導教員の必修科目「論文演習Ⅰ・Ⅱ」を履修し、8 単位（長期履修学生は 12 単位）合格すること。長期履修学生かどうかにかかわらず、8 単位を超えて修得した場合は、8 単位を必修科目として修得し、残る 4 単位は選択科目に充当する。2022 年次生までの学生は、「論文演習Ⅰ・Ⅱ」を自専攻科目（選択科目）として履修できるが、修了所要単位として認められるのは、4 単位までである。2022 年次生までの長期履修学生の場合は、同 8 単位までである。
- 8) 「(他) 分野横断研究法：原理と技法」（神学研究科神学専攻開講）は、分野横断型の科目として、2022 年度から新たに開設された。本科目により修得した単位は、自研究科他専攻科目（選択科目）として修了に必要な単位数に算入される。定員 30 名の抽選科目となるので、抽選エントリーの期間や方法、抽選後の先着順での登録方法等について、履修要覧〔ガイド・資料編〕Ⅱ. 教務-5-1 (2) 抽選科目について を参照のこと。履修登録を行わずに授業に出席することはできない。なお、評価には P（合格）・X（不合格）を使用する。

4. 開講科目一覧表[博士前期課程_社会福祉学専攻]

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 *:非常勤教員	外国語	備考
MHSV1000	春	社会福祉研究法基礎	SSV520-84j00	2	コーディネータ 平野 寛弥 岡 知史 菱岡 悦子 *室田 信一		輪講、M1必修 後期課程科目「研究法特殊講義」との 合併科目
MHSV7520	春	生活困窮支援政策学	SSV604-84j00	2	鍋木 奈津子		後期課程科目「生活困窮支援政策特殊 研究」との合併科目
MHSV7540	春	高齢者福祉研究	SSV521-84j00	2	高瀬 幸子		後期課程科目「高齢者福祉特殊研究」 との合併科目
MHSV1811	春	論文演習 I	SSV529-84j00	2	菱岡 悦子		
MHSV1821	春	論文演習 I	SSV529-84j00	2	丸山 桂		
MHSV1831	春	論文演習 I	SSV529-84j00	2	笠原 千絵		
MHSV1841	春	論文演習 I	SSV529-84j00	2	新藤 こずえ		
MHSV1851	春	論文演習 I	SSV529-84j00	2	鍋木 奈津子		
MHSV1861	春	論文演習 I	SSV529-84j00	2	平野 寛弥		
MHSV1871	春	論文演習 I	SSV529-84j00	2	高瀬 幸子		
MHSV9530	春	修士論文	SSV699-84j00	0	社会福祉学専攻各指 導教員		M2対象、9月修了者対象
MHSV7560	1Q	NARRATIVE IN SOCIAL WORK RESEARCH	SSV526-84e00	1	岡 知史	○	後期課程科目「NARRATIVE APPROACHES TO SOCIAL WORK RESEARCH」との合併 科目
MHSV7040	1Q	社会福祉政策学 I	SSV610-84j00	1	平野 寛弥		後期課程科目「社会福祉政策学特殊研 究 I」との合併科目
MHSV7060	2Q	社会福祉政策学 II	SSV611-84j00	1	平野 寛弥		後期課程科目「社会福祉政策学特殊研 究 II」との合併科目
MHSV7080	2Q	統計調査研究	SSV531-84j00	2	*木村 文香		2Q集中、隔年開講
MHSV7010	3Q	社会福祉政策・臨床研究法基礎	SSV533-84j00	2	コーディネータ 鍋木 奈津子 笠原 千絵 新藤 こずえ *山口 麻衣		輪講
MHSV7460	秋	当事者福祉研究	SSV602-84j00	2	岡 知史		隔年開講、後期課程科目「質的研究法 特殊研究」との合併科目
MHSV7580	秋	INTRODUCTION TO THE INTERNATIONAL SOCIAL WORK DISCOURSES	SSV528-84e00	2	*松尾 加奈	○	
MHSV1812	秋	論文演習 II	SSV530-84j00	2	菱岡 悦子		
MHSV1822	秋	論文演習 II	SSV530-84j00	2	丸山 桂		
MHSV1832	秋	論文演習 II	SSV530-84j00	2	笠原 千絵		
MHSV1842	秋	論文演習 II	SSV530-84j00	2	新藤 こずえ		
MHSV1852	秋	論文演習 II	SSV530-84j00	2	鍋木 奈津子		
MHSV1862	秋	論文演習 II	SSV530-84j00	2	平野 寛弥		
MHSV1872	秋	論文演習 II	SSV530-84j00	2	高瀬 幸子		
MHSV9520	秋	修士論文	SSV699-84j00	0	社会福祉学専攻各指 導教員		M2対象
MHSV7140	3Q	権利擁護関係法制論	SSV605-84j00	2	*飯村 史恵		
MHSV7170	秋	児童福祉学	SSV504-84j00	2	新藤 こずえ		後期課程科目「児童福祉学特殊研究」 との合併科目
MHSV7270	3Q	社会福祉フィールドワーク	SSV522-84j00	1	高瀬 幸子		
MHSV7272	1Q	社会福祉フィールドワーク	SSV522-84j00	1	笠原 千絵		
MHSV7240	3Q	医療ソーシャルワーク研究 I	SSV612-84j00	1	菱岡 悦子		
MHSV7260	4Q	医療ソーシャルワーク研究 II	SSV613-84j00	1	菱岡 悦子		
MHSV7250	1Q	ソーシャルケースワーク研究	SSV513-84j00	2	*高山 恵理子		後期課程科目「ソーシャルケースワ ーク特殊研究」との合併科目
MHSV7350	3Q	援助事例分析	SSV523-84j00	1	菱岡 悦子		

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 *：非常勤教員	外国語	備考
MHSV7352	2Q	援助事例分析	SSV523-84j00	1	新藤 こそえ		
MHSV7401	4Q	社会政策・経営事例分析	SSV524-84j00	1	鍋木 奈津子		
MHSV7550	春	障害者福祉学	SSV525-84j00	2	笠原 千絵		隔年開講
MHSV7090	休講	社会政策とジェンダー	SSV631-84j00	2			隔年開講 後期課程科目「社会政策学特殊研究」との合併科目
MHSV7400	休講	社会政策・経営事例分析	SSV524-84j00	1			
MHSV7510	休講	知的障害者福祉学	SSV510-84j00	2			隔年開講 後期課程科目「知的障害者福祉学特殊研究」との合併科目
MHSV7470	休講	社会保障特殊講義	SSV603-84j00	2			隔年開講

他専攻開講科目（自専攻開講科目扱い）については、[2. 授業科目の編成・単位]の項に記載

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
SSV599-84j00	笠原 千絵	
	菱岡 悦子	
	丸山 桂	
	新藤 こそえ	
	鍋木 奈津子	
	平野 寛弥	
	高瀬 幸子	

社会福祉学専攻 博士後期課程

1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限、その他）
総単位数	6		
授業科目			
・選択科目	6		
指導科目			
研究指導(必修)		6	単位なし、在学中毎学期登録される。 6科目以上合格すること。
博士論文			必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および試験に合格すること。博士論文の審査基準は別に定める。

【研究指導スケジュール】

4月に実施する専攻別ガイダンスで配布する「社会福祉学専攻 博士後期課程研究指導計画」にて、詳細を確認すること。

【博士論文審査基準】

ディプロマ・ポリシーに掲げた能力等を把握するために、提出された論文を次の水準及び審査項目について審査する。

1. 研究テーマの設定が適切であり、社会福祉の理念・政策・実践との関連付けが明確であること。
2. 先行研究を的確に踏まえ、レビューが十分になされていること。
3. 研究目的に照らして研究方法が妥当であり、明確な研究成果が導き出されていること。
4. 論文構成が明快であり、論理の展開に一貫性があること。
5. 社会福祉学領域に新たな知見を提示し、当該領域の理論および実践の進展に寄与するものであること。
6. 自立した研究者としての資質と能力を証明するものであること。
7. 研究倫理上の問題がないこと。
8. 日本社会福祉学会誌執筆要領(注および文献の表示等)ないし社会政策学会誌執筆要領等に適合しており、学術論文としての体裁が整っていること。

なお、博士論文の提出については、社会福祉学専攻「上智大学大学院総合人間科学研究科社会福祉学専攻 博士（課程博士）論文の審査手続に関する内規」を参照すること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
研究法特殊講義 ※注1			2
社会福祉政策学特殊研究Ⅰ			1
社会福祉政策学特殊研究Ⅱ			1
質的研究法特殊研究			2
社会政策学特殊研究			2
ソーシャルケースワーク特殊研究			2
知的障害者福祉学特殊研究			2
児童福祉学特殊研究			2
生活困窮支援政策特殊研究			2
高齢者福祉特殊研究			2
NARRATIVE APPROACHES TO SOCIAL WORK RESEARCH			1

※注1 2022年度まで4単位

3. 履修上の注意

- 1) 博士後期課程の修了要件は、3年以上の在学と「研究指導」（単位なし）の毎学期履修、後期課程選択科目（前期課程との合併科目）6単位の修得、博士論文の審査および試験の合格である。
- 2) 4月の専攻別ガイダンスで配布する「社会福祉学専攻 履修上の注意」に従って履修すること。
- 3) 専任教員1名を指導教員として定め、その教員の研究指導計画のもとで研究計画を練り、研究の報告や博士論文の作成を行うこと。1年次秋学期より、本専攻の3名以上の教員から構成される研究指導委員会に適宜研究進捗状況を報告し、研究指導を受けること。
- 4) 博士論文提出予定者は、「上智大学大学院学則」、「上智大学学位規則」、「上智大学博士学位（課程博士）論文の審査手続に関する内規」及び「社会福祉学専攻 博士後期課程 研究指導計画」に従って、指導教員の承認を得た後、専攻から求められた資料を本専攻主任に提出し、論文提出資格審査試験委員会による審査を受ける。提出予定者は研究業績として、学術雑誌に掲載または採択された、申請者を第一著者とする論文、またはそれと同等であると本専攻が認めた論文が2篇以上必要である。ただし、そのうちの1篇は学外の査読付き学術雑誌に掲載された論文である必要がある。
- 5) 博士論文の提出に際しては、社会福祉学専攻の定める「上智大学大学院総合人間科学研究科社会福祉学専攻 博士（課程博士）論文の審査手続に関する内規」に従って所定の手続きをとること。詳細は4月の専攻別ガイダンス時に周知する。

4. 開講科目一覧表[博士後期課程 社会福祉学専攻]

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 *：非常勤教員	外国語	備考
DHSV7080	春	研究法特殊講義	SSV808-84j00	2	コーディネータ 平野 寛弥 岡 知史 菱岡 悦子 *室田 信一		輪講 前期課程科目「社会福祉研究法基礎」との併科科目
DHSV7110	春	生活困窮支援政策特殊研究	SSV811-84j00	2	鏑木 奈津子		前期課程科目「生活困窮支援政策学」との併科科目
DHSV7120	春	高齢者福祉特殊研究	SSV812-84j00	2	高瀬 幸子		前期課程科目「高齢者福祉研究」との併科科目
DHSV7050	1Q	社会福祉政策学特殊研究 I	SSV804-84j00	1	平野 寛弥		前期課程科目「社会福祉政策学 I」との併科科目
DHSV7060	2Q	社会福祉政策学特殊研究 II	SSV805-84j00	1	平野 寛弥		前期課程科目「社会福祉政策学 II」との併科科目
DHSV7030	秋	質的研究法特殊研究	SSV802-84j00	2	岡 知史		隔年開講 前期課程科目「当事者福祉研究」との併科科目
DHSV7130	1Q	NARRATIVE APPROACHES TO SOCIAL WORK RESEARCH	SSV813-84e00	1	岡 知史	○	前期課程科目「NARRATIVE IN SOCIAL WORK RESEARCH」との併科科目
DHSV7070	1Q	ソーシャルケースワーク特殊研究	SSV807-84j00	2	*高山 恵理子		前期課程科目「ソーシャルケースワーク研究」との併科科目
DHSV7090	秋	児童福祉学特殊研究	SSV809-84j00	2	新藤 こずえ		前期課程科目「児童福祉学」との併科科目
DHSV7020	休講	社会政策学特殊研究	SSV806-84j00	2			隔年開講 前期課程科目「社会政策とジェンダー」との併科科目
DHSV7100	休講	知的障害者福祉学特殊研究	SSV810-84j00	2			隔年開講 前期課程科目「知的障害者福祉学」との併科科目

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
SSV899-84j00	岡 知史	
	笠原 千絵	
	菱岡 悦子	
	丸山 桂	
	新藤 こずえ	
	鏑木 奈津子	
	平野 寛弥	
	高瀬 幸子	

看護学専攻 修士課程

1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限、その他）
総単位数	30		
授業科目			
・必修科目	10		
↳キリスト教と人間論特論	2		
↳看護研究法ⅠA	2		
↳看護研究法ⅠB	2		
↳看護学特別研究演習Ⅰ	2		
↳看護学特別研究演習Ⅱ	2		
・選択科目	20		自専門分野指定科目を6単位以上履修すること。
↳自専攻科目			
↳自研究科他専攻科目			
↳委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる。
修士論文			必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および試験に合格すること。修士論文の審査基準は別に定める。 修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず登録をすること。
研究指導（必修）		4	単位なし、在学中毎学期登録される。4科目以上（長期履修学生は6科目以上）合格すること。

【研究指導スケジュール】

4月に実施する専攻ガイダンスで配布する「看護学専攻（修士課程）論文審査スケジュール」にて、詳細を確認すること。

【修士論文審査基準】

ディプロマ・ポリシーに掲げた能力等を把握するために、提出された論文を次の水準及び審査項目について審査する。

1. 表題の明確性と内容との一貫性
2. 研究の意義、着眼点（文献レビューに基いているか）
3. 研究目的の明確性
4. 倫理的配慮を含む研究方法の適切性（目的との関連性）
5. データ収集・分析の適切性
6. 結果の提示の十分性
7. 考察の妥当性（結果をもとに考察し、論理の矛盾や飛躍がないか）
8. 論旨の一貫性
9. 図表の不備・不足ないしは不要の有無
10. 文献の偏りおよび不備

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
＜共通科目＞			
キリスト教と人間論特論	2		
看護研究法ⅠA	2		
看護研究法ⅠB	2		
倫理学特論			2
医療政策特講			2
看護理論			2
ケアリング特論			2
ヘルスケア哲学			2
生涯発達学特論			2
国際比較文化論			2
看護研究法Ⅱ（質的研究）			2
看護研究法Ⅲ（量的研究）			2
看護管理学特論			2
看護教育学特論			2
（他）宗教と身体性※注1			2
（他）死生学演習 ※注1			2
（他）死生学研究 ※注1			2
（他）生命倫理学研究 ※注1			2
（他）医療人文学演習 ※注1			2
（他）環境と健康 ※注2			2
（他）データの可視化と分析 ※注3			2
（他）戦略思考と意思決定 ※注3			2
（他）政策・事業評価 ※注3			2
（他）コミュニケーションダイナミクス ※注3			2
（他）変革型リーダーシップ ※注3			2
（他）分野横断研究法：原理と技法※注4			2

※注1：死生学専攻開講科目

※注2：地球環境学専攻開講科目

※注3：応用データサイエンス学位プログラム開講科目

※注4：神学専攻開講科目

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
＜専門（領域）科目＞			
看護学特別研究演習Ⅰ	2		
看護学特別研究演習Ⅱ	2		
専門看護学特論			2
専門看護学ゼミ			2
専門看護学演習			2
フィールドワーク			2

3. 履修上の注意

- 看護学専攻の修了要件は 30 単位以上を履修し、自専門分野指導教員のもと修士論文を作成・提出することとする。なお、学生の研究関心分野に応じて、関連した他専門分野の教員からも研究指導を適宜受けることができる。
- 「研究指導」（必修）は、在学中毎学期登録される。4 科目以上（長期履修学生は 6 科目以上）合格すること。
- 学生は本専攻入学時に、それぞれの分野に対応する「専門看護学特論」（2 単位）、「専門看護学ゼミ」（2 単位）及び「専門看護学演習」（2 単位）を履修すること。詳細については、ガイダンスで説明する。
- 本専攻では、教育・実践力ならびに研究に必要なセンスを磨くための教育方法として、「フィールドワーク」（2 年次選択科目）を重視している。内容については、ガイダンスで説明する。
- 長期履修のモデルについては、ガイダンスで配布し説明を行うが、履修登録前に自専門分野指導教員と相談すること。
- 論文の作成については、ガイダンス資料にあるスケジュール・提出物・提出先を参照して進める。1 年次の 4Q にて研究計画の発表、2 年次の 4Q にて修士論文の発表を行う。
- 「（他）分野横断研究法：原理と技法」（神学研究科神学専攻開講）について
分野横断型の科目として、2022 年度から新たに開設された。本科目により修得した単位は、自専攻科目（選択科目）として修了に必要な単位に算入される。定員 30 名の抽選科目となるので、抽選エントリーの期間や方法、抽選後の先着順での登録方法等について、履修要覧〔ガイド・資料編〕Ⅱ. 教務-5-1 (2) 抽選科目についてを参照のこと。履修登録を行わずに授業に出席することはできない。なお、評価には P（合格）・X（不合格）を使

用する。

8) 専門看護学特論の履修について

主担当教員が同じ科目は重複履修できないが、主担当教員が異なる科目は重複履修可能であり、全て修了に必要な単位として認められる。 重複履修を希望する場合は、専攻事務室に問い合わせること。

4. 開講科目一覧表

共通科目

履修度	登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 *：非常勤教員	外国語	備考
必修科目	MHNU1010	1Q	キリスト教と人間論特論	NRS501-85j00	2	(他) 酒井 陽介		
	MHNU1020	1Q	看護研究法 I A	NRS502-85j00	2	草柳 浩子 坂井 志麻 岡本 菜穂子 手塚 園江		輪講
	MHNU1030	2Q	看護研究法 I B	NRS503-85j00	2	塚本 尚子 小高 恵実 大河原 啓文		輪講
選択科目	MHNU7110	春	倫理学特論	NRS504-85j00	2	崎山 貴代 *丹木 博一		輪講、隔年開講
	MHNU7210	休講	医療政策特講	NRS509-85j00	2			輪講、隔年開講
	MHNU7240	春	看護理論	NRS512-85j00	2	草柳 浩子 両羽 美穂子 小高 恵実 三次 真理 船木 由香		輪講、隔年開講
	MHNU7160	2Q	ケアリング特論	NRS508-85j00	2	*崎川 修		2Q集中
	MHNU7120	秋	ヘルスケア哲学	NRS505-85j00	2	*丹木 博一		
	MHNU7130	休講	生涯発達学特論	NRS506-85j00	2			隔年開講
	MHNU7140	秋	国際比較文化論	NRS507-85j00	2	*土居 由美		隔年開講
	MHNU7220	秋	看護研究法 II (質的研究)	NRS510-85j00	2	*森岡 崇		
	MHNU7230	秋	看護研究法 III (量的研究)	NRS511-85j00	2	*久田 満		
	MHNU7250	秋	看護管理学特論	NRS513-85j00	2	両羽 美穂子 塚本 尚子		輪講、隔年開講
	MHNU7260	休講	看護教育学特論	NRS514-85j00	2			隔年開講
	MARL7150	秋	宗教と身体性	RES526-35j00	2	(他) 吉田 美和子		※注1
	MARL6110	春	死生学演習	RES506-35j00	2	(他) 佐藤 啓介		※注1 2026年度借入追加、全入学年次生対象
	MARL7050	秋	死生学研究	RES514-35j00	2	(他) 佐藤 啓介		※注1 2026年度借入追加、全入学年次生対象
	MARL7060	春	生命倫理学研究	RES515-35j00	2	(他) 浅見 昇吾		※注1 2026年度借入追加、全入学年次生対象
	MARL6130	秋	医療人文学演習	RES508-35j00	2	(他) *鷹田 佳典		※注1 2026年度借入追加、全入学年次生対象
	MGGE8010	秋	環境と健康	ENV602-94j00	2	(他) *高橋 一彰		※注2 2026年度借入追加、全入学年次生対象
	MADS7080	春	データの可視化と分析	ADS510-79j00	2	(他) 山下 遥		※注3 2026年度借入追加、全入学年次生対象
	MADS7220	秋	戦略思考と意思決定	ADS524-79j00	2	(他) 小林 裕亨		※注3 2026年度借入追加、全入学年次生対象
	MADS7240	秋	政策・事業評価	ADS526-79j00	2	(他) 倉田 正充		※注3 2026年度借入追加、全入学年次生対象
	MADS7470	秋	コミュニケーションダイナミクス	ADS562-79j00	2	(他) *玉川 大輔 (他) *木村 俊介		輪講 ※注3 2026年度借入追加、全入学年次生対象
	MADS7480	秋	変革型リーダーシップ	ADS563-79j00	2	(他) *眞木 和俊 (他) *小澤 紀克		輪講 ※注3 2026年度借入追加、全入学年次生対象
	MTTH7780	秋	分野横断研究法：原理と技法	THE565-91j00	2	コーディネータ (他) HAIDAR JUAN (他) 池田 真		輪講 ※注4 [30名]、M1対象

※注1：死生学専攻開講科目

※注2：地球環境学専攻開講科目

※注3：応用データサイエンス学位プログラム開講科目

※注4：神学専攻開講科目（詳細は、履修上の注意(7)参照）

専門(領域)科目

履修度	登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 *：非常勤教員	外国語	備考
必修	MHNU2011	休講	看護学特別研究演習 I	NRS601-85j00	2	草柳 浩子		M2対象

履修 度	登 録 コ ー ド	開 講 期	科 目 名	ナン バ リ ン グ	単 位 数	担 当 教 員 名 * : 非 常 勤 教 員	外 国 語	備 考
履 修 目 録	MHNU2021	春	看護学特別研究演習 I	NRS601-85j00	2	塚本 尚子 船木 由香		輪講、M2対象
	MHNU2031	春	看護学特別研究演習 I	NRS601-85j00	2	石川 ふみよ 三次 真理 田村 南海子		輪講、M2対象
	MHNU2041	休講	看護学特別研究演習 I	NRS601-85j00	2	崎山 貴代 松永 真由美		輪講、M2対象
	MHNU2051	休講	看護学特別研究演習 I	NRS601-85j00	2	両羽 美穂子 岡本 菜穂子		輪講、M2対象
	MHNU2071	休講	看護学特別研究演習 I	NRS601-85j00	2	坂井 志麻		M2対象
	MHNU2012	休講	看護学特別研究演習 II	NRS602-85j00	2	草柳 浩子		M2対象
	MHNU2022	秋	看護学特別研究演習 II	NRS602-85j00	2	塚本 尚子 船木 由香		輪講、M2対象
	MHNU2032	秋	看護学特別研究演習 II	NRS602-85j00	2	石川 ふみよ 三次 真理 田村 南海子		輪講、M2対象
	MHNU2042	休講	看護学特別研究演習 II	NRS602-85j00	2	崎山 貴代 松永 真由美		輪講、M2対象
	MHNU2052	休講	看護学特別研究演習 II	NRS602-85j00	2	両羽 美穂子 岡本 菜穂子		輪講、M2対象
	MHNU2072	休講	看護学特別研究演習 II	NRS602-85j00	2	坂井 志麻		M2対象
	MHNU9010	秋	修士論文	NRS699-85j00	0	看護学専攻教員		
選 択 科 目	MHNU7300	春	専門看護学特論	NRS516-85m00	2	塚本 尚子 船木 由香		輪講
	MHNU7310	春	専門看護学特論	NRS516-85m00	2	石川 ふみよ 三次 真理 田村 南海子		輪講
	MHNU7320	春	専門看護学特論	NRS516-85m00	2	坂井 志麻 大河原 啓文		輪講
	MHNU7330	春	専門看護学特論	NRS516-85m00	2	崎山 貴代 松永 真由美		輪講
	MHNU7340	春	専門看護学特論	NRS516-85m00	2	草柳 浩子 手塚 園江		輪講
	MHNU7350	春	専門看護学特論	NRS516-85m00	2	小高 恵実		
	MHNU7360	春	専門看護学特論	NRS516-85m00	2	両羽 美穂子 岡本 菜穂子		輪講
	MHNU7370	春	専門看護学特論	NRS516-85m00	2	吉野 八重	○	
	MHNU7400	秋	専門看護学ゼミ	NRS517-85j00	2	塚本 尚子 船木 由香		輪講
	MHNU7410	秋	専門看護学ゼミ	NRS517-85j00	2	三次 真理 田村 南海子		輪講
	MHNU7420	秋	専門看護学ゼミ	NRS517-85j00	2	坂井 志麻 大河原 啓文		輪講
	MHNU7430	秋	専門看護学ゼミ	NRS517-85j00	2	崎山 貴代 松永 真由美		輪講
	MHNU7440	秋	専門看護学ゼミ	NRS517-85j00	2	草柳 浩子 手塚 園江		輪講
	MHNU7450	秋	専門看護学ゼミ	NRS517-85j00	2	両羽 美穂子 岡本 菜穂子		輪講
	MHNU7500	秋	専門看護学演習	NRS518-85j00	2	塚本 尚子 船木 由香		輪講
	MHNU7510	秋	専門看護学演習	NRS518-85j00	2	三次 真理 田村 南海子		輪講
	MHNU7520	秋	専門看護学演習	NRS518-85j00	2	坂井 志麻 大河原 啓文		輪講

履修度	登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 *：非常勤教員	外国語	備考
	MHNU7530	秋	専門看護学演習	NRS518-85j00	2	崎山 貴代 松永 真由美		輪講
	MHNU7540	秋	専門看護学演習	NRS518-85j00	2	草柳 浩子 手塚 園江		輪講
	MHNU7550	秋	専門看護学演習	NRS518-85j00	2	両羽 美穂子 岡本 菜穂子		輪講
	MHNU7010	春	フィールドワーク	NRS603-85j00	2	塚本 尚子		M2対象

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
NRS599-85j00	塚本 尚子	
	草柳 浩子	
	両羽 美穂子	
	坂井 志麻	
	三次 真理	
	崎山 貴代	
	岡本 菜穂子	